データフォルダ

データフォルダには最大1,000件（EZチャンネルプラス、EZニュースフラッシュ、Eメールのデータ件数は含みません。）、約40MB（10,281クラスタ※）までのデータを保存できます。ただしEZアプリ（BREW®）と保存領域を共有しているため、EZアプリ（BREW®）の使用容量により、データフォルダの保存可能容量は減少します。

※1クラスタは、約4KBのデータ容量を表します。

フォルダとデータについて

フォルダ一覧画面とデータ一覧画面の表示

データフォルダには、データを整理するために各種フォルダが用意されています。

1 待受中に[●]→[データフォルダ]

フォルダ一覧画面が表示されます。

- 「全データ」フォルダ、「ユーザーフォルダ」は、フォルダ内にデータが1件も保存されていない場合でも表示されます。その他のフォルダでは、データが保存されていない場合、表示されません。
- サブフォルダのあるフォルダ名の右端には➡が表示されます。
- ユーザーフォルダには、最大30個（ロックフォルダを含む）のサブフォルダを作成できます。ユーザーフォルダ内の「全データ」フォルダ、サブフォルダ内にデータが保存されていない場合は、フォルダの色が灰色で表示されます（ロックフォルダを除く）。
- microSDメモリカードがセットされている場合、フォルダ一覧画面で[アプリ]（microSD）を押すと、microSDメモリカード内のデータフォルダを表示できます。
  [&]（サブメニュー）→[microSDへ切替]と操作しても、microSDメモリカード内のデータフォルダを表示できます。



《フォルダ一覧画面》

2 フォルダ／サブフォルダを選択→[●]（詳細）

フォルダ内のデータが一覧画面で表示されます。

- 「ユーザーフォルダ」「ムービーフォルダ」「フォトフォルダ」「ボイスフォルダ」「フォトミキサー」内で「全データ」フォルダを選択した場合、それぞれのフォルダ内に保存されているすべてのデータを一覧表示します。
- 「メール制限(M434)」が設定されている場合は、「Eメールフォルダ」のサブフォルダ内のデータを表示しようとすると、ロックNo.入力画面が表示されます。ロックNo.を入力して、メール制限を解除してください。
- サブフォルダのデータ一覧画面で[E]／[✉]を押すと、それぞれ次のサブフォルダ／前のサブフォルダのデータ一覧を表示できます。
  ※「Eメールフォルダ」「LISMO」「クーポンフォルダ」「フォトミキサー」フォルダ内のサブフォルダのデータ一覧画面では、[E]／[✉]で前後のサブフォルダのデータ一覧画面を表示することはできません。



《データ一覧画面》

■**お知らせ**

- 「全データ」フォルダを表示しても「チャンネルボックス」「Eメールフォルダ」「ロックフォルダ」内のデータは表示されません。

各フォルダに保存されるデータの種類とアイコン

データの一覧では、データの種類に応じて、次のアイコンが表示されます。

フォルダ	アイコン	データの種類
ムービーフォルダ		自作の標準Sサイズムービー※
		自作の標準／高品質Mサイズムービー※
		自作の高品質Lサイズムービー※
		自作のQVGAサイズムービー※
フォト(画像)フォルダ		自作のケータイ画像※
		自作の壁紙画像※
		自作のワイド壁紙画像※
		自作のVGA画像※
		自作のSXGA画像※
		自作のUXGA画像※
		自作のワイド画像※
ボイスフォルダ		自作のマイボイス
		ICレコーダーの録音データ
EZムービー	/	SサイズのEZムービー※
	/ /	MサイズのEZムービー※
	/ /	LサイズのEZムービー※
	/	LLサイズのEZムービー（3GP／3G2のみ）※
	/ /	QVGAサイズのEZムービー（3GP／3G2のみ）※
LISMO		着うたフル®のデータ
		ダウンロード未完了の着うたフル®／ダウンロード未完了のビデオクリップ
		LISMO Music Storeで購入した着うたフル®
		CD読み込みデータ
		ビデオクリップ
		LISMO Music Storeで購入したビデオクリップ
	/	プレイリスト
サウンド		着うた®
		「着うた保存」で保存したデータ
		着Flash
		メロディ
		アニメ＆メロディ
ボイス		ボイス
グラフィック(画像)		BMP※／JPEG※／PNG※／GIF画像※
		GIFアニメ※／アニメ(MMF)※

フォルダ	アイコン	データの種類
グラフィック(画像)		ケータイ画像※
		壁紙画像※
		ワイド壁紙画像※
		VGA画像※
		SXGA画像※
		UXGA画像※
		ワイド画像※
		Flash®※
カラオケ		テキスト＆メロディ
		テキスト＆アニメ＆メロディ
		テキスト＆アニメ
ケータイアレンジ		ケータイアレンジファイル
クーポンフォルダ		クーポン情報
		クーポン内容
フォトミキサー		フォトミキサーのテンプレート
		フォトミキサー作品
メニュー		メニュー用Flash®
フレーム		自作のフレーム※
		フレーム※
スタンプ		自作のスタンプ※
		スタンプ※
辞書		辞書
PIM情報		自作のアドレス帳（vCardデータ）
		アドレス帳（vCardデータ）
		自作のスケジュール（vCalendarデータ）
		スケジュール（vCalendarデータ）
		自作のタスクリスト（vCalendarデータ）
		タスクリスト（vCalendarデータ）
テキスト		テキスト（TXT）
		テキスト（MMF）
チャンネルボックス		EZチャンネルプラスからダウンロードしたデータ
マルチフォルダ		マルチパックデータ
ブックフォルダ		電子書籍データ
Eメールフォルダ		Eメールの送信ボックス／受信ボックスから保存したEメール
テンプレート		デコレーションメールのテンプレート
不明なファイル		属性の不明なファイル

※印のデータは、「画像表示設定」（▶P.143）を「サムネイル」に設定した場合、サムネイル表示できるデータです。

• P.139のアイコンの他に、状況により次のアイコンが表示されます。

アイコン	説明	アイコン	説明
	他の機能に登録されているデータ		再生／表示や登録に失敗したデータ 通常のアイコンの上に斜線が引かれる
	GPS情報が付加されているデータ		
	他の機能に登録されていて、GPS情報が付加されているデータ		microSDメモリカード内の著作権保護機能対応データ

■ ロックフォルダについて

「ユーザーフォルダ」内の「ロックフォルダ」のデーター覧画面を表示するには、ロックNo.を入力する必要があります。「ロックフォルダ」には、次の特徴があります。

• 「全データ」のデーター覧画面には、「ロックフォルダ」内のデータは、表示されません。
  ※「全データ」の一覧画面の右上に表示されるデータの件数には、「ロックフォルダ」内のデータは含まれません。
• フォルダ削除を実行して「ロックフォルダ」が削除されると、フォルダ名を変更していた場合は、フォルダ名が「ロックフォルダ」に戻ります。
• 「ロックフォルダ」の色は、フォルダ内にデータが存在しない場合でも、存在する場合と同じ色で表示されます。
• 「ロックフォルダ」内のデータを他の機能に登録すると、登録先の機能で通常のデータと同様に利用できます。
• フレームおよびスタンプを「ロックフォルダ」に移動すると、カメラ機能からは利用できなくなります。
• 「ロックフォルダ」内のデータは、ムービーファクトリーなど一部の機能から利用できなくなります。
  これらの機能でデータを利用したい場合は、「ロックフォルダ」以外のフォルダにデータを移動してください。

データの再生／表示

データ一覧からデータを選択して再生／表示します。

1 データ一覧画面（▶P.138）→データを選択→●（再生／表示）

データが再生／表示されます。

2 メモ/クリアで再生／表示を停止

■お知らせ

• データによっては、データを再生／表示するまでに時間がかかることがあります。
• データ再生時の音量は、「通常着信（M21）」の「音量（M211）」で設定されている音量で再生されます。
  音量を変更した場合、その音量はデータフォルダを終了するまで保持されます。
• 「マナーモード」（▶P.282）が「通常マナー」「ドライブモード」「サイレントマナー」「オリジナル」に設定されている場合、消音の状態でデータが再生されます。
• マナーモードが「ドライブモード」「サイレントマナー」に設定されている場合、データ再生中にバイブレータは振動しません。
• au ICカードを挿入していない場合やお客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、著作権保護の設定されたデータの操作が制限される場合があります。
• 表示／再生できる画像、ムービーの最大サイズについては、「付録」の「表示／再生できる画像・ムービーの最大サイズ」（▶P.368）をご参照ください。
• 辞書は再生／表示できません。
  辞書の登録方法については、「ダウンロード辞書（M527）」をご参照ください。
• デコレーションメールのテンプレートは再生／表示できません。データ一覧画面で●（作成）を押すか、
  ⊡（サブメニュー）→［デコレーションメール作成］と操作すると、デコレーションメールを作成できます。
  ▶P.72「デコレーションメール」
• ダウンロード未完了の着うたフル®／ダウンロード未完了のビデオクリップのデータは、いずれか1件のみ保存できます。ダウンロード未完了の着うたフル®／ダウンロード未完了のビデオクリップのデータは、再生できません。
• etc（不明なファイルアイコン）が表示されているデータは再生／表示できません。
• データを再生／表示する時点で、再生／表示できないデータであることが判明した場合は、再生／表示できません。この場合、通常のデータアイコンに斜線が引かれる場合があります。
• お買い上げ時に登録されているデータは、「メモリリセット(M462)」「オールリセット(M464)」を行うと、削除されます。
• ダウンロードした画像などは、携帯電話の機種により色が多少異なることがあります。
• ムービー、EZムービーを再生する際データによっては画面が一瞬乱れる場合があります。
• パソコンなどで加工したデータは、再生できない場合があります。
• Flash®では、ゲームのハイスコアや途中経過の記録などのデータを、メモリに保存することがあります。メモリに保存されたデータは領域がいっぱいになると、最も古いデータから削除されます。

・データの再生／表示時には、次のキーをご利用になれます。

[●](❚❚)：再生を一時停止
[●](停止)：再生を停止
[▲▼]：音量を調節
[▶]／[▶](2回)：早送り／高速で早送り（早送り中に[◀]でスロー再生）
[◀]／[◀](2回)：巻戻し／高速で巻戻し（巻戻し中に[▶]でスロー巻戻し）
[◀](長押し)：頭出し
[アプリ](登録)：登録先選択画面（▶P.145）を表示
[📖](サブメニュー)：サブメニューを表示
[◀◀]：前のデータ　[▶▶]：次のデータ
[0]：キー操作のガイドを表示
[2]：「イヤホン効果（M2✱3）」の切り替え
[3]：「DBEX設定（M2✱1）」の切り替え
[7]：画面情報の表示／非表示
[9]：フィット表示切り替え
[メモ/クリア]：再生を停止／データの一覧に戻る／前の画面に戻る
[ペア]：「スピーカー効果（M2✱2）」の切り替え

※データの種類や、再生中／停止中などの状態によって、上記のキーをご利用になれない場合があります。
ご利用可能なキーは[0]を押して、キー操作のガイドを表示してご確認ください。

・**着Flash／Flash®／メニュー用Flash®の「クオリティ設定」を切り替えるには**
Flash®データの再生中／一時停止中／再生停止中に[📖]（サブメニュー）→[クオリティ設定]と操作すると、再生中データの再生品質を切り替えることができます。再生品質は、「High」（画質が美しく、動きは緩やか）「Medium」（標準）「Low」（画質が粗く、動きは速い）から選択できます。
・**フレーム／スタンプ表示中のキー操作**
[●]（全画面）を押すと、全画面表示できます。また、[📖]（サブメニュー）→[全画面]と操作しても、全画面表示できます。[メモ/クリア]を押すと、元の画面に戻ります。
・「チャンネルボックス」フォルダ内のデータ再生については、「番組再生」（▶P.187）をご参照ください。
・「Eメールフォルダ」内のEメールの表示については、「microSD／データフォルダ内でのEメール操作」（▶P.86）をご参照ください。

■ ムービー／EZムービーの再生

1 データ一覧画面（▶P.138）→ムービーを選択→[●]（再生）

[1]：スロー再生（スロー再生中に[◀]を押してスロー巻戻し）
[8]：ムービー表示設定を切り替え
※リンクが設定されている場合は、[📖]（リンク）と表示されます。
[📖]（リンク）を押すと、リンク先に接続するための画面が表示されます。
▶P.193「EZムービーからハイパーリンクを利用」



再生を一時停止する場合

2 再生中に[●]（❚❚）

[1]：コマ送り　[8]：ムービー表示設定を切り替え（▶P.143「ムービー表示設定」）
※約60秒間何も操作をしないときには、データの一覧に戻ります。

■お知らせ

・ムービーを横再生した場合、[7]を押すと約3秒間画面情報が表示されます。また[0]を押すとキー操作のガイドが約3秒間表示されます。
・**ムービーやEZムービーの一時停止中画面を静止画として保存するには**
ムービー／EZムービーを再生して、一時停止中に[📖]（サブメニュー）→[編集]→[静止画保存]→[保存する]と操作します。
※ムービーに著作権保護が設定されている場合、静止画を保存できません。
・**チャプタ再生するには**
データ一覧画面でチャプタ再生したいムービー／EZムービーを選択→[📖]（サブメニュー）→[チャプタ]と操作します。ムービー／EZムービーは、最大9個のチャプタに分割され、サムネイル表示されます。チャプタを選択して[●]（再生）を押すと、選択したチャプタから再生されます。
なお、再生回数制限／再生期限制限／再生期間制限が設定されているムービー／EZムービーは、チャプタ再生できません。
・録画時間が約3時間までのムービーを再生できます。

■ フォト（画像）／グラフィック（画像）の表示

フォト（画像）／グラフィック（画像）は、約30秒間表示されます。
表示しきれない部分がある場合、[✥]で画像をスクロールできます。

■お知らせ

- **ズーム表示するには**
  VGA(640×480)(480×640)/SXGA(1280×960)(960×1280)/UXGA(1600×1200)(1200×1600)/ワイド(1600×960)(960×1600)画像を表示する場合、画像の表示中に[●](ズーム)を押すと、拡大/縮小表示できます。
  [㎝](+):画像を拡大
  ※最大のときは表示されない
  [アプリ](−):画像を縮小
  ※最小のときは表示されない
  [◆]:ズーム後に画像をスクロール
  [ペア]:画像の縦横を切り替え
- **全画面表示するには**
  画像の表示中に[㎝](サブメニュー)→[全画面]と操作すると、画面最下行を非表示にして、隠れていた部分の画像を表示します。画面より小さいサイズの画像は、そのまま表示されます。

■ マイボイス/ICレコーダーの録音データ/ボイスの再生

マイボイス、ICレコーダーの録音データ、ボイスを再生できます。

■お知らせ

- **ICレコーダーの録音データの再生中/一時停止中のキー操作**
  [1]:後ろへスキップ
  [▶]:早送り/長押しで高速早送り
  [3]:前へスキップ
  [◀]:巻戻し/長押しで高速巻戻し
  ※スキップは、全体の1/10刻みで移動します。スキップできるのは30秒以上のデータです。
- **ICレコーダーの録音データを区間リピート再生するには**
  再生中/一時停止中/再生停止中に[㎝](サブメニュー)→[再生設定]→[区間リピート]と操作すると、始点と終点を指定してリピート再生できます。1秒未満のデータを選択している場合、「区間リピート」は選択できません。
  [アプリ](始点)→[アプリ](終点)と押すと、リピート再生します。
- **ICレコーダーの録音データをオールリピートするには**
  再生中/一時停止中/再生停止中に[㎝](サブメニュー)→[再生設定]→[オールリピート]と操作すると、全体をリピート再生します。

■ 音楽の再生

着うたフル®、CD読み込みデータ、プレイリスト、ビデオクリップ、LISMO Music Storeで購入した着うたフル®、LISMO Music Storeで購入したビデオクリップは、au Music Player(▶P.220)を起動して再生します。

■お知らせ

- [アプリ](プレビュー)で簡易再生ができます。簡易再生中は、[㎝][✉][E]を利用できません。[アプリ](終了)でデータ一覧画面に戻ります。
- 再生回数制限/再生期限制限/再生期間制限が設定されたデータは、簡易再生のみとなります。

■ ケータイアレンジファイルの再生/表示

ケータイアレンジファイル内のデータが項目で一覧表示されます。項目を選択して個別に表示できます。

■お知らせ

- ケータイアレンジファイル内のデータを表示してから登録することはできません。登録については、「登録」(▶P.144)をご参照ください。

■ クーポン情報/クーポン内容の表示

クーポン情報画面/クーポン内容画面が表示されます。 ▶P.257「auケータイクーポンを利用する」
クーポン情報画面で[●](内容取得)→[はい]と操作すると内容を取得して、「クーポン内容」サブフォルダに保存します。

■ PIM情報の表示

アドレス帳(vCardデータ)、スケジュール/タスクリスト(vCalendarデータ)を表示できます。

■お知らせ

- 表示内容が「****」と表示されるアドレス帳(vCardデータ)やスケジュール/タスクリスト(vCalendarデータ)には、シークレットが設定されています。「シークレット(M431)」を「表示する」にすると内容を確認できます。
- アドレス帳(vCardデータ)表示中に、電話番号/Eメールアドレス/URL/住所/GPS情報を選択して発信、Eメールの作成、URLのページ表示、地図の表示などができます。
- アドレス帳(vCardデータ)またはスケジュール/タスクリスト(vCalendarデータ)に複数のデータが含まれる場合[▲▼]で前後のデータを表示できます。

■ テキストの再生

全角5, 120／半角10, 240文字までのテキスト(TXT)を表示できます。

■お知らせ

- 全角5, 120／半角10, 240文字を超えるテキスト(TXT)は、全角5, 120／半角10, 240文字まで表示されます。
- **テキスト(TXT)に含まれる電話番号／Eメールアドレス／URL／GPS情報を利用するには**
  電話番号／Eメールアドレス／URL／GPS情報を選択→●(選択)と操作すると、サブメニューが表示されます。各サブメニューについては、以下をご参照ください。
  ▶P.89「件名／電話番号／URL／GPS情報／FeliCa情報の利用」
- **テキスト(TXT)の本文をコピーするには**
  テキストの表示中に[サブメニューキー](サブメニュー)→[本文コピー]と操作します。[方向キー]で開始位置にカーソルを移動→●→[方向キー]で範囲を指定→●(コピー)と操作すると、本文をコピーできます。
  コピーした内容を貼り付ける方法については、「コピー／カット／貼り付け」(▶P.59)をご参照ください。
  ※コピーできる文字数は、全角128／半角256文字以下です。
- テキスト(TXT)表示中に[サブメニューキー](サブメニュー)→[テキスト文字サイズ設定]と操作すると、「テキストメモ再生文字(M337)」を設定します。

設定

再生／表示に関する設定を行います。

1 フォルダ一覧画面／データ一覧画面(▶P.138)→[サブメニューキー](サブメニュー)→[設定]

2

情報表示	データの再生／表示中の画面情報を表示するかどうかを設定 **[表示する]**／**[表示しない]**
ムービー表示設定	ムービー再生時の表示方法を設定 **S／M／L／LLムービー**：S／M／L／LLサイズのムービーの表示設定 **[縦再生]**／**[横再生]** **QVGAムービー**：QVGAサイズのムービーの表示設定 **[縦再生]**／**[横再生]**／**[フルワイド再生]**／**[ジャストワイド再生]**／**[パノラマワイド再生]** • パノラマワイド再生に設定すると、表示位置を「上再生」「中央再生」「下再生」から選択できます。 • [アイコン]アイコンのM／L／LLサイズのEZムービーの場合、「縦再生」のみ適用されます。 • [アイコン]アイコンのQVGAサイズのEZムービーの場合は、「縦再生」と「横再生」のみ適用されます。
文字サイズ設定	フォルダ一覧画面とデータ一覧画面(リスト表示)を表示する際の文字サイズを設定 **[大]**／**[中]** • 「データフォルダ文字(M336)」でも設定できます。

画像表示設定

「全データ」「ユーザーフォルダ」「ムービーフォルダ」「フォトフォルダ」「EZムービー」「グラフィック」「フレーム」「スタンプ」の各フォルダでは、データ一覧画面をサムネイル表示とリスト表示に切り替えることができます。お買い上げ時は、「サムネイル」に設定されています。

1 フォルダ一覧画面／データ一覧画面(▶P.138)→[サブメニューキー](サブメニュー)→[設定]→[画像表示設定]

2			
	一括設定	**サムネイル**:サムネイル表示可能なすべてのフォルダをサムネイル表示 **リスト**:リスト表示可能なすべてのフォルダをリスト表示	
	個別設定	サムネイル表示可能なフォルダの一覧が表示されます。 **フォルダを選択→[●](サムネイル/リスト)→[□](確定)** フォルダごとに表示設定を切り替えます。 ・フォルダの一覧でサムネイル表示に設定したフォルダには[■]が、リスト表示に設定したフォルダには[≡]が表示されます。	

■お知らせ

- microSDメモリカードのデータフォルダの「デジカメフォルダ」は、常にサムネイル表示されます。リスト表示にはできません。
- サムネイル表示にしても再生回数制限/再生期限制限/再生期間制限の制限に達したデータは、サムネイル表示されません。データの種類を示すアイコンが表示されます。
- au ICカードが挿入されていない場合やお客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、著作権保護の設定されたデータをサムネイル表示できない場合があります。代わりにデータの種類を示すアイコンが表示されます。
- 「画像表示設定」の設定内容は、microSDメモリカード内のデータフォルダにも反映されます。

■ サムネイル表示のデータ一覧画面

データの一覧を表示すると右の画面が表示されます。
選択しているデータのタイトルが表示されます。
他の機能に登録されているデータには[リンク](リンクアイコン)、GPS情報が付加されているデータには[GPS](GPS情報アイコン)が表示されます。
他の機能に登録されていて、GPS情報も付加されているデータには、[リンク+GPS](リンク+GPS情報アイコン)が表示されます。
サムネイル表示ができないデータには、代わりにデータの種類を示すアイコンが表示されます。
[メモ/クリア]を押すとフォルダの一覧に戻ります。



登録

データフォルダに保存されているデータは、着信音や待受画面などに登録して利用できます。

■お知らせ

- au ICカードを挿入していない場合やお客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、著作権保護の設定されたデータの操作が制限される場合があります。
- データを登録する時点で登録できないデータであることが判明した場合は、登録できません。
  この場合、通常のデータアイコンに斜線が引かれる場合があります。
- 他の機能に登録しているデータをデータフォルダから削除する、またはmicroSDメモリカードやau My Pageに移動した場合には、登録先の機能はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 他の機能への登録が完了すると、データの一覧画面に戻ります。
  他の機能に登録した項目には、登録先選択メニューの先頭に✔が表示されます。
  ただし、待受ショートカットに登録した場合✔は表示されません。
  登録先選択メニューで[メモ/クリア]を押すと、元の画面に戻ります。
- 他の機能に登録しているデータには、データの一覧などに[リンク](リンクアイコン)が表示されます。
  ただし、待受ショートカットに登録した場合は[リンク](リンクアイコン)が表示されません。
  また、GPS情報が付加された画像/ムービーの「GPS情報のみ」を登録した場合も、[GPS](GPS情報付きリンクアイコン)は表示されません。
- 登録したアドレス帳のメモリNo.は、空いているメモリNo.のうち一番小さな番号になります。
- シークレットが設定されているアドレス帳(vCardデータ)やスケジュール/タスクリスト(vCalendarデータ)は、「****」と表示され登録することができません。「シークレット(M431)」を「表示する」に設定すると登録できます。
  ただし、一括登録する場合は、シークレットが設定されていても登録できます。
- アドレス帳(vCardデータ)やスケジュール/タスクリスト(vCalendarデータ)、テキスト(TXT)の場合、データ内容を登録しても[リンク](リンクアイコン)は表示されません。
- 登録後、データフォルダ内のアドレス帳やスケジュール/タスクリストを削除しても、登録先の内容は消えません。

1 データ一覧画面(▶P.138)／データの再生中・表示中→[アプリ](登録)、またはデータ一覧画面(▶P.138)→[📖](サブメニュー)→[登録]



《登録先選択画面》

データの種類により表示される登録先選択項目は異なります。

- データの種類と登録先選択メニューの対応関係については、「付録」の「データフォルダ内の登録先一覧」(▶P.370)をご参照ください。

2

着信音関連	**通常着信音**	「通常着信(M21)」の「メロディ(M212)」に登録
	Eメール受信音	「Eメール受信(M22)」の「メロディ(M222)」に登録
	お知らせ受信音	「お知らせ受信(M23)」の「メロディ(M232)」に登録
	Cメール受信音	「Cメール受信(M24)」の「メロディ(M242)」に登録
	ニュースフラッシュ受信音	「ニュースフラッシュ受信(M25)」の「メロディ(M252)」に登録
アドレス帳関連	**個別着信音／個別Eメール音／個別Cメール音**	アドレス帳の「着信メロディ」の「通常着信」／「Eメール受信」／「Cメール受信」に登録 ▶P.62「他の機能からのアドレス帳登録」
	個別画像	アドレス帳に画像／ムービーを登録 ▶P.62「他の機能からのアドレス帳登録」
	グループ着信音／グループEメール音／グループCメール音	アドレス帳グループの「着信メロディ」の「通常着信」／「Eメール受信」／「Cメール受信」に登録 **グループを選択→[●]→[📖](登録)**
	グループ画像	アドレス帳グループに画像／ムービーを登録 **[●]→グループを選択→[●]→[📖](登録)**
アラーム関連	**アラーム音／アラーム画像**	アラームにアラーム音／画像を登録 ・アラームを選択すると、アラーム音／画像が上書登録されます。「アラーム」(▶P.302)を参照して登録してください。
	スケジュールアラーム音／スケジュール画像	スケジュールを新規登録、または登録されているスケジュールのアラーム音／画像を上書登録 ・以降の操作については、「スケジュールの新規登録」(▶P.295)をご参照ください。
	タスクリストアラーム音／タスクリスト画像	タスクリストを新規登録、または登録されているタスクリストのアラーム音／画像を上書登録 ・以降の操作については、「タスクリストの新規登録」(▶P.297)をご参照ください。
	カウントダウンアラーム音／カウントダウンアラーム画像	タイマーアラーム音／画像を上書登録 ・カウントダウンタイマー起動中は、タイマーアラーム音／画像を登録することはできません。
画像関連	**待受画面**	「待受画面(M311)」に登録
	通常着信画面	「通常着信画面(M313)」に登録
	Eメール送信画面	「Eメール送信画面(M314)」に登録
	Eメール受信画面	「Eメール受信画面(M315)」に登録
	Cメール送信画面	「Cメール送信画面(M316)」に登録
	プロフィール画像	プロフィールに画像／ムービーを登録 ▶P.54「プロフィールの編集」
	記念日画像	画像を選択して記念日を新規登録、または登録されている記念日の画像を上書登録 ・「上書登録」を選択すると、記念日を選択する画面が表示されます。「記念日の新規登録」(▶P.297)をご参照ください。
待受ショートカット		ユーザー設定アイコンに登録 ・フォルダー一覧画面のサブメニューで「登録」を選択した場合は、フォルダがユーザー設定アイコンに登録されます。
メインメニュー		メインメニューのアイコンに登録

メモ帳	メモ帳にテキスト(TXT)の内容を登録 ・テキスト(TXT)の内容が全角512／半角1,024文字を超える場合には、登録する範囲を選択してください。
アドレス帳一件登録	内容表示中のアドレス帳(vCardデータ)の内容をアドレス帳に登録
アドレス帳一括登録	アドレス帳(vCardデータ)の内容をすべてアドレス帳に登録
カレンダー一件登録	内容表示中のスケジュール／タスクリスト(vCalendarデータ)の内容をスケジュールまたはタスクリストに登録
カレンダー一括登録	スケジュール／タスクリスト(vCalendarデータ)の内容をすべてスケジュールまたはタスクリストに登録
ダウンロード辞書	辞書データを「ダウンロード辞書(M527)」に登録
ケータイアレンジ	ケータイアレンジファイルを登録 ・詳しくは「ケータイアレンジ設定」(▶P.38)をご参照ください。

※「Eメール設定」の「バックグラウンド受信」を「受信する」に設定して自動受信した場合、設定した受信画像は表示されません。(ただし、「新着メール問合せ」、「添付データの受信」、「差出人･件名受信」の本文受信、の場合を除く。)

■お知らせ

- 画像を登録する場合は、登録先選択メニューを選択後、画像の表示部分を選択する画面が表示される場合があります。[▲▼]で画像の表示部分を選択して[●]を押します。

■ GPS情報が付加された画像／ムービーの登録

2

データのみ	「登録」(▶P.144)の操作2以降の操作を行う
GPS情報のみ データ＋GPS情報	GPS情報のみまたはGPS情報と画像／ムービーを登録 **[アドレス帳]／[プロフィール]** ▶P.54「プロフィールの編集」 ▶P.61「新規登録」 ▶P.62「他の機能からのアドレス帳登録」

データの利用

Eメールへ添付

1 データ一覧画面(▶P.138)→[MENU](サブメニュー)→[Eメールへ添付]

選択したデータを添付したEメール作成画面が表示されます。
▶P.69「新規作成」

GPS情報が付加されたデータを選択した場合

2

データのみ	選択したデータを添付したEメール作成画面を表示
GPS情報のみ	GPS情報がEメール本文に入力されたEメール作成画面を表示
データ＋GPS情報	データを添付してGPS情報が本文に入力されたEメール作成画面を表示

テキスト(TXT)データを選択した場合

2

本文引用	テキスト(TXT)データの内容をEメールの本文に引用 ・半角カタカナは自動的に全角カタカナに変換されます。 ・全角5,000／半角10,000文字を超えるテキストの場合、全角5,000／半角10,000文字を超えた部分は削除されます。
添付ファイル	テキスト(TXT)データを添付

■お知らせ

- microSDメモリカード内のデータフォルダのデータを添付する場合は、確認メッセージが表示されます。「保存して作成」を選択すると、データが本体内のデータフォルダにコピーされ、データを添付したEメール作成画面が表示されます。「中止する」を選択すると、Eメールを作成できません。
  ※操作2で「GPS情報のみ」「本文引用」を選択した場合は、確認メッセージは表示されず、Eメールを作成できます。

GPS情報付加

すでにGPS情報が付加されている画像またはムービーを選択した場合は、GPS情報が更新されます。
また、付加されているGPS情報を削除することもできます。

1 データ一覧画面（▶P.138）→ 📖（サブメニュー）→［編集］→［GPS情報付加］

2

付加する	▶P.218「他の機能でのGPS情報付加」
付加しない	GPS情報をデータから削除

■お知らせ
- 著作権保護が設定されている画像／ムービーには、GPS情報は付加できません。
- 画像／ムービーによっては、GPS情報を付加できない場合があります。

画像変換

1 データ一覧画面（▶P.138）→フォトを選択→ 📖（サブメニュー）→［編集］→［画像変換］

画像変換メニューが表示されます。

■お知らせ
- 画像によっては編集すると、画質が劣化することがあります。
- W52P以外で撮影した画像は、加工･変換できない場合があります。
- 著作権保護が設定されている画像は編集できません。
- 録画モードが「メールモード」のムービーを静止画保存した画像は、画像変換できません。
- GPS情報が付加された画像を編集した場合、編集後に保存された画像にもGPS情報は付加されます。
- 画像変換で編集できる画像の種類については、「付録」の「編集できる画像の一覧」（▶P.368）をご参照ください。
- 画像変換を行った画像は、元の画像と同じフォルダに新たな画像として保存されます。
  画像のタイトルは、「元の画像のタイトル＋4桁の連番」となります。
  ※ただし、microSDメモリカード内のデータフォルダの「デジカメフォルダ」の画像を画像変換する場合で、変換後の画像が「ワイド壁紙 240×400」以下のサイズになる場合は「グラフィック」フォルダに保存されます。
- 画像の編集中に、保存しないまま約5分間何も操作しないと、編集中の画像を破棄して画像変換メニューに戻ります。
- microSDメモリカードに保存した画像からフレーム、スタンプを作成した場合を含め、作成したすべてのフレーム、スタンプは本体内のデータフォルダの「フレーム」「スタンプ」フォルダに新規保存されます。
- VGA（640×480）（480×640）、SXGA（1280×960）（960×1280）、UXGA（1600×1200）（1200×1600）、ワイド（1600×960）（960×1600）サイズの画像は、ズームして部分的に切り出すことができます。
  アプリ（－）:ズームアウト　📖（＋）:ズームイン　ペア:縦と横を切り替え

回転

撮影した画像を左右に90度ずつ回転します。

1 画像変換メニュー（▶P.147「画像変換」の操作1）→［回転］

2 アプリ（↰左）／📖（右↱）

この操作を繰り返すと連続して90度ずつ回転できます。

3 ●（保存）

切り出し

切り出しメニューで選択できる項目と編集画像サイズの関係については、「付録」の「切り出しメニュー」（▶P.369）をご参照ください。

1 画像変換メニュー（▶P.147「画像変換」の操作1）→［切り出し］

切り出しメニューが表示されます。

2 切り出しサイズを選択→[●]

3 [✥]で切り出す位置を選択→[●](保存)

「ワイド壁紙 240×400」サイズの画像を「壁紙 240×320」サイズに切り出す場合は、[↕]のみ有効になります。

リサイズ

リサイズメニューで選択できる項目と編集画像サイズの関係については「付録」の「リサイズメニュー」(▶P.369)をご参照ください。

1 画像変換メニュー(▶P.147「画像変換」の操作1)→[リサイズ]

リサイズメニューが表示されます。

「ケータイ 120×160」サイズに変更する場合

2 [ケータイ(120×160)]→[●](保存)

スタンプ作成

作成したスタンプは、他のスタンプ同様に「画像効果(フォト)」の「スタンプ合成(フォト)」(▶P.134)で使うことができます。

1 画像変換メニュー(▶P.147「画像変換」の操作1)→[スタンプ作成]

[1]:スタンプの枠を□→○→☆→♡→(吹き出し)に切り替え

[2]:スタンプのサイズを横30×縦30ドット→横50×縦50ドット→横100×縦100ドットに切り替え

2 [✥]で切り出す位置を選択→[●](保存)

フレーム作成

作成したフレームは、他のフレーム同様に「画像効果(フォト)」の「フレーム合成(フォト)」(▶P.134)で使うことができます。

1 画像変換メニュー(▶P.147「画像変換」の操作1)→[フレーム作成]

[1]:フレームの枠を○→□→♡に切り替え

[2]:作成するフレームのサイズを切り替え(ワイド壁紙サイズ以上の場合のみ)

[✥]:切り取り位置を変更

※「壁紙 240×320」「ワイド壁紙 240×400」サイズの画像の場合、切り取り位置を変更することはできません。ただし、「ワイド壁紙 240×400」サイズの画像から「壁紙 240×320」用のフレームを作成する場合は、[↕]が有効となります。

2 [●](保存)

合成画像作成

撮影した2つの画像のそれぞれ一部を切り取って、上下または左右に並べて合成します。

1 画像変換メニュー(▶P.147「画像変換」の操作1)→[合成画像作成]

[1]:合成の方法(上下を合成/左右を合成)を切り替え

[ペア]:縦と横を切り替え(「壁紙 240×320」「ワイド壁紙 240×400」は切り替えできません)

2 [✥]で位置を選択

3 [●]→[●](確定)→[↕]でフォルダ/サブフォルダを選択→[●](詳細)

合成可能な画像の一覧が表示されます。

microSDメモリカードがセットされている場合、[アプリ](microSD)を押すとmicroSDメモリカード内の画像を選択できます。

4 [✥]でフォトを選択

[アプリ](表示):画像を表示　[📖](サムネイル/リスト):画像の一覧の表示方法を切り替え

5 ●→◆で合成する位置を選択→●(保存)

■**お知らせ**

- 合成した画像は、「壁紙 240×320」サイズになります。

ムービー変換

1 データ一覧画面(▶P.138)→ムービーを選択→□(サブメニュー)→[編集]→[ムービー変換]

ムービー変換メニューが表示されます。

■**お知らせ**

- W52P以外で録画したムービーは、「ムービー変換」で編集できません。
- ムービー変換を行ったムービーは、元のムービーと同じフォルダに新たなムービーとして保存されます。ムービーのタイトルは、「元のムービーのタイトル+4桁の連番」となります。

トリミング

1 ムービー変換メニュー(▶P.149「ムービー変換」の操作1)→[トリミング]

トリミングの始点を、ムービーの先頭にする場合は、アプリ(始点)を押します。

2 ●(再生)

ムービーが再生されます。

3 アプリ(始点)

トリミングの始点が設定され、それ以降のムービーを再生します。

●(再生/❚❚)を押すたびに録画したムービーを再生/一時停止します。

1:スロー再生(再生の一時停止中はコマ送り、スロー再生中に◀を押してスロー巻戻し)

▶/▶(2回):早送り/高速で早送り(早送り中に◀でスロー再生)

◀/◀(2回):巻戻し/高速で巻戻し(巻戻し中に▶でスロー巻戻し)

※始点より前に巻き戻すことはできません。

4 アプリ(終点)

トリミングするムービーの終点が設定されます。

●(再生):トリミング後のムービーを再生

5 □(保存)

■**お知らせ**

- 始点と終点の選択位置によっては、選択した位置より約2秒手前でムービーがトリミングされる場合があります。

結合

最大5件のムービーを1つにつなぐことができます。

1 ムービー変換メニュー(▶P.149「ムービー変換」の操作1)→[結合]

2 ◆でムービーを選択→●(選択)

●(選択)を押すと、最大4件のムービーを選択できます。

選択したムービーには2~5と表示されます。

選択済みのムービーを選択して●(解除)を押すと、選択を解除できます。

※ムービーの結合を行えるのは、同じ録画サイズのムービーのみです。
(違う録画サイズのムービーは表示されません。)

※データ一覧画面で最初に選択したムービーには1と✕が表示され、変更できません。

※✕が表示されたムービーは選択できません。

3 □(確定)

●(再生):結合後のムービーを再生

データフォルダ

4 [📖](保存)

■お知らせ

- microSDメモリカード内のムービーは結合できません。本体内データフォルダに移動／コピーしてから結合してください。
- 1番目のムービーに付加されていたGPS情報が、結合後のムービーに付加されます。
2番目以降のムービーに付加されていたGPS情報は、結合したムービーに付加されません。
- 結合後にテロップの件数が5件以上になった場合は、再生時に5件目以降のテロップも表示されます。
ただし、改めて「テロップ(ムービー)」(▶P.136)の操作でテロップを編集するときには、5件目以降のテロップは破棄されます。
- 録画サイズが「標準S」「標準M」のムービーを結合した場合、結合後のムービーに表示されるテロップの背景色は、すべて1番目のムービーの背景色となります。
- 録画モードが「メールモード」のムービーでも、結合後はEメールで送信できない場合があります。

Eメール用データ変換

録画サイズが「高品質M」「高品質L」「QVGA(ビデオモード)」のムービーをEメールに添付可能なサイズに変換できます。

1 ムービー変換メニュー(▶P.149「ムービー変換」の操作1)→[Eメール用データ変換]

録画サイズが「QVGA(ビデオモード)」の場合

2

標準S(メール用)	送信する部分(15秒以内)を選択し、録画サイズを横96×縦80ドットに縮小
標準M(メール用)／高品質M(メール用)	送信する部分(15秒以内)を選択し、録画サイズを横128 ×縦96 ドットに縮小
高品質L(メール用)	送信する部分(15秒以内)を選択し、録画サイズを横176×縦144ドットに縮小

3 [●](再生)

[アプリ](始点)を押すとトリミングの始点が設定され、それ以降のムービーを再生します。「トリミング」(▶P.149)の操作3～4を参照してムービーをトリミングします。

4 [📖](保存)

■お知らせ

- 録画サイズが「高品質M」「高品質L」の変換サイズは、「標準S(メール用)」／「標準M(メール用)」(操作2参照)から選択します。「高品質M」「高品質L」を結合したムービーは、「高品質M(メール用)」「高品質L(メール用)」を選択できる場合があります。

データ利用のその他の機能

データの種類により次の機能を呼び出すことができます。

1 データ一覧画面(▶P.138)→[📖](サブメニュー)

2

EZwebで接続		リンク情報が含まれている場合に「接続する」を選択してサイトを表示
削除		▶P.40「データの削除」
EZナビウォーク		GPS情報付加データを選択時／再生中に表示 ▶P.204「EZナビウォーク」
編集	画像効果	▶P.133「画像効果(フォト)」
	ムービー効果	▶P.136「ムービー効果(ムービー)」
	テンプレート編集	「テンプレート」サブフォルダ内のデータを選択時／再生中に表示 ▶P.304「フォトミキサー」
情報	楽曲詳細表示	着うたフル®、CD読み込みデータ、ビデオクリップ、LISMO Music Storeで購入した着うたフル®、LISMO Music Storeで購入したビデオクリップのデータを選択時に表示 ・曲名／アーティスト名／アルバム名／再生時間／販売元／権利者の確認ができます。

■お知らせ

- データの種類によって、サブメニューに表示される項目は異なります。

- クーポン情報画面／クーポン内容画面のサブメニューについては、「■ クーポン一覧画面・クーポン情報画面・クーポン内容画面のサブメニュー」（▶P.258）をご参照ください。
- 「チャンネルボックス」フォルダ内データのメニューについては、「番組保存と番組解約」（▶P.189）をご参照ください。
- 「Eメールフォルダ」のデータ一覧画面／内容表示画面でのサブメニューについては「microSD／データフォルダ内でのEメール操作」（▶P.86）をご参照ください。

データの管理

データ／フォルダの種類によって、サブメニューに表示される項目は異なります。

本体内移動

データフォルダの各フォルダに保存されたデータは、移動可能な範囲で他のフォルダへ移すことができます。

1 データ一覧画面（▶P.138）→ [メニュー]（サブメニュー）→[移動／コピー]→[本体内移動]

2

1件移動	データ一覧画面で選択中のデータを移動
選択移動	表示中のフォルダ内のデータを選択して移動 **データを選択→[●]（選択）→[メニュー]（移動）** • 複数データの選択方法については、「データの複数選択」（▶P.41）をご参照ください。
全件移動	表示中のフォルダ内の全データを移動

3

ユーザーフォルダ	すべてのデータ（ただし、移動可能なデータのみ）をサブフォルダに移動 • サブフォルダ一覧画面で[メニュー]（新規）を押すと、サブフォルダを作成して移動できます。 • 移動先に「ロックフォルダ」を選択した場合は、ロックNo.を入力すると、移動されます。
ムービーフォルダ／フォトフォルダ／ボイスフォルダ	日付サブフォルダに移動 • 日付サブフォルダがない場合、または日付サブフォルダの選択画面で[メニュー]（新規）を押すと、日付サブフォルダを作成して移動できます。
（データの種類に応じたフォルダ）	データの種類に応じて表示されたフォルダに移動 • データの種類とフォルダの関係は、「各フォルダに保存されるデータの種類とアイコン」（▶P.139）をご参照ください。
元フォルダ	移動前のフォルダ／サブフォルダに移動 • 移動先の「ムービーフォルダ」「フォトフォルダ」「ボイスフォルダ」に元の日付サブフォルダ（登録日のサブフォルダ）がない場合、日付サブフォルダが自動的に作成され移動します。 • 移動対象であるデータの元フォルダがmicroSDメモリカード内のフォルダの場合でも、microSDメモリカード内にデータは移動されません。

※移動可能なフォルダのみが、データの種類に応じて表示されます。

■お知らせ

- データの移動を実行しているときに着信などがあった場合には、データの移動は中断されます。
- 「選択移動」や「全件移動」で種類の異なる複数のデータを移動対象にした場合、移動先選択画面には、移動対象であるすべてのデータが移動できるフォルダのみ表示されます。
- データの再生／表示中、一時停止中、再生停止中に[メニュー]（サブメニュー）→[移動／コピー]→[本体内移動]と操作すると、1件移動となり、移動先選択画面が表示されます。
- 「LISMO」「Eメールフォルダ」「辞書」フォルダのデータは、移動できません。
- 「チャンネルボックス」フォルダの番組データを移動する方法については、「■ 番組データの移動」（▶P.189）をご参照ください。
- クーポン情報／クーポン内容を「ユーザーフォルダ」に移動すると、auケータイクーポンメニュー（▶P.257）から利用できなくなります。
- フォトミキサーのテンプレートを「ユーザーフォルダ」に移動すると、アクセサリのフォトミキサーから利用できなくなります。

microSDへ移動／コピー

本体データフォルダ内のデータをmicroSDメモリカードへ移動／コピーできます。

1 データ一覧画面（▶P.138）→[メニュー]（サブメニュー）→[移動／コピー]→[microSDへ移動]／[microSDへコピー]



2

1件移動／コピー	データ一覧画面で選択中のデータを移動／コピー
選択移動／コピー	表示中のフォルダ内のデータを選択して移動／コピー **データ選択→[●]（選択）→[メニュー]（移動）／[メニュー]（コピー）** • 複数データの選択方法については、「データの複数選択」（▶P.41）をご参照ください。
全件移動／コピー	表示中のフォルダ内の全データを移動／コピー • 「全件移動」の際にはロックNo.の入力が必要になります。

3

デジカメフォルダ	microSDメモリカード内のデータフォルダの「デジカメフォルダ」に移動／コピー
ユーザーフォルダ	サブフォルダに移動／コピー • サブフォルダ一覧画面で[メニュー]（新規）を押すと、サブフォルダを作成して移動／コピーできます。
PCフォルダ	microSDメモリカード内の「PCフォルダ」に移動／コピー
対応フォルダ	移動／コピー可能なフォルダに移動／コピー • データの種類と対応フォルダの関係は、「各フォルダに保存されるデータの種類とアイコン」（▶P.139）をご参照ください。

■お知らせ

- 著作権保護が設定されているデータを、microSDメモリカードに移動／コピーすることはできません。ただし、著作権保護機能対応データの場合は、移動できます。 ▶P.161「著作権保護機能対応データの暗号化について」
- au ICカードが挿入されていない場合やお客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、著作権保護機能対応データを、microSDメモリカードに移動することはできません。
- 辞書データ、BMP画像、ダウンロード未完了の着うたフル®、ダウンロード未完了のビデオクリップ、クーポン内容、不明なデータ、「Eメールフォルダ」内のデータは、microSDメモリカードに移動／コピーすることはできません。
- 「チャンネルボックス」フォルダの番組データを移動する方法については「■ 番組データの移動」（▶P.189）をご参照ください。なお、番組データはコピーすることはできません。
- Flash®、メニュー用Flash®、着Flash、ケータイアレンジ、デコレーションメールのテンプレートにはmicroSDメモリカードに移動できないデータもあります。またFlash®、メニュー用Flash®、着Flash、ケータイアレンジ、デコレーションメールのテンプレートをmicroSDメモリカードにコピーすることはできません。
- Flash®をmicroSDメモリカードに移動すると、Flash®に保存されていた記録情報は削除されます。
- データの移動／コピーを実行しているときに着信などがあった場合には、データの移動／コピーは中断されます。
- 移動／コピー先選択画面で選択できるのは、データの種類に応じた移動／コピーが可能なフォルダのみになります。移動／コピーできないフォルダは、選択できません。
- データの再生／表示中、一時停止中、再生停止中に[メニュー]（サブメニュー）→[移動／コピー]→[microSDへ移動]／[microSDへコピー]と操作すると、1件移動／コピーとなり、移動／コピー先選択画面が表示されます。

■ データの移動／コピーが可能なmicroSDメモリカード内のフォルダ

データの種類	移動／コピー可能なフォルダ
自作の VGA画像／SXGA画像／UXGA画像／ワイド画像	「デジカメフォルダ」「ユーザーフォルダ」「PCフォルダ」、対応フォルダ（「フォトフォルダ」）
自作以外の VGA画像／SXGA画像／UXGA画像／ワイド画像	「デジカメフォルダ」「ユーザーフォルダ」「PCフォルダ」、対応フォルダ（「グラフィック」フォルダ） • 「デジカメフォルダ」に移動／コピーできない画像もあります（Exifの管理情報が画像に含まれない場合など）。
上記以外のデータ	「ユーザーフォルダ」「PCフォルダ」、対応フォルダ • データの種類と対応フォルダの関係については、「各フォルダに保存されるデータの種類とアイコン」（▶P.139）をご参照ください。

データお預り（移動／コピー）

選択しているデータをau My Page（▶P.234）へ移動／コピーできます。

1 データ一覧画面（▶P.138）→[📖]（サブメニュー）→[移動／コピー]→[データお預り（移動）]／[データお預り（コピー）]→[接続する]

Myフォトアルバムへ公開

データフォルダの「フォトフォルダ」「グラフィック」フォルダ内の著作権なし「.jpg」データを、au My Pageへ保存するときにアルバム形式で保存できます。

1 データ一覧画面（▶P.138）→[📖]（サブメニュー）→[移動／コピー]→[Myアルバムへ公開]

サーバ接続の確認画面が表示されます。

2 [接続する]

保存完了画面が表示されます。
「データフォルダへ」を選択するとデータ表示画面に戻ります。
「Myアルバムへ」を選択すると保存したアルバムページを表示します。

お預りデータ確認

au My Page（▶P.234）のお預りデータのトップページを表示して、保存データの確認、データのダウンロードができます。

1 フォルダ一覧画面（▶P.138）→[📖]（サブメニュー）→[お預りデータ確認]

サーバ接続の確認画面が表示されます。

2 [接続する]

au My Pageのお預りデータのトップページが表示されます。

■ 移動／コピーできるデータの種類とデータサイズ

フォルダ	データ種別	保存できる容量
ムービーフォルダ／EZムービー	ムービー／EZムービー(AMC／3GP)	150KB
	ムービー／EZムービー(3G2)	500KB
フォトフォルダ／グラフィック	JPEG画像	500KB
	PNG画像／GIF画像／GIFアニメ／アニメ(MMF)	150KB
	Flash®	100KB
ボイスフォルダ／ボイス	ボイス(QCP)／ボイス(HVS)	150KB
プレイリスト	プレイリスト	300KB
サウンド	着うた®(3G2)／着うた®(3GP)	500KB
	着Flash	100KB
	メロディ／アニメ＆メロディ	150KB
カラオケ	テキスト＆メロディ／テキスト＆アニメ＆メロディ／テキスト＆アニメ	150KB
クーポン	クーポン情報	1KB
フォトミキサー	フォトミキサーのテンプレート／フォトミキサー作品	150KB
メニュー	メニュー用Flash®	100KB
フレーム	フレーム	150KB
スタンプ	スタンプ	
PIM情報	アドレス帳(vCardデータ)／スケジュール・タスクリスト(vCalendarデータ)	
テキスト	テキスト(TXT)／テキスト(MMF)	
Eメールフォルダ	Eメール(vMessage)	14KB
テンプレート	デコレーションメールのテンプレート	13KB

■お知らせ

- 各データはau My Pageへの移動／コピーと、サーバからデータフォルダへのコピーには対応していますが、サーバからデータフォルダへの移動には対応していません。
- 著作権保護が設定されたデータは、サーバに保存できない場合があります。
- ユーザーフォルダ内のロックフォルダに保存されているデータ、再生回数制限･再生期間制限･再生期限制限があるデータ、他の電話番号で保存されたコンテンツなどは移動／コピーすることはできません。
- au My Page上のデータ保存領域がいっぱいになった場合は、メッセージが表示されます。「My Pageへ接続」を選択して、My Pageから保存容量の追加を申し込むことができます。
- EZwebを利用してデータをダウンロードする際などに、データフォルダに空き容量が足りなくなった場合、既存データの削除確認画面が表示されます。

赤外線送信

選択しているデータを「赤外線送信」(▶P.310)できます。送信できるデータの容量は最大4MBです。「シンプルショット送信」は「通常送信」に比べ、短時間でデータを転送できます。シンプルショット送信は、相手機器もシンプルショット送信(IrSimple™)に対応している場合のみ行えます。

1 **データ一覧画面(▶P.138)→[📖](サブメニュー)→[赤外線送信]→[通常送信]／[シンプルショット送信]／[送信しない]**

■お知らせ

- 辞書データ、BMPデータ、Flash®／着Flash／メニュー用Flash®データ、クーポン内容、「着うたフル」「ミュージック」「ビデオクリップ」「チャンネルボックス」「不明なファイル」フォルダ内のデータ、デコレーションメールの「テンプレート」フォルダ内のデータ、著作権保護が設定されたデータは送信することはできません。
- 電池残量が少なくなると、「赤外線送信」が選択できなくなる場合があります。

タイトル編集

1 **データ一覧画面(▶P.138)→[📖](サブメニュー)→[編集]→[タイトル編集]→タイトルを編集→[●]**

タイトルは全角20／半角40文字まで入力できます。

■お知らせ

- タイトルを変更しても、データ再生時の再生中や停止中画面には、変更前のタイトルが表示されることがあります。
- データによっては、[📖](サブメニュー)→[タイトル編集]と操作する場合があります。
- プレイリストのタイトルをデータフォルダで編集することはできません。プレイリストのタイトル編集については「プレイリストを編集する」(▶P.224)をご参照ください。

ソート

データ一覧画面での並びかたを設定します。

1 **データ一覧画面(▶P.138)→[📖](サブメニュー)→[検索／ソート]→[ソート]**

2

データの種類	データの種類順に表示
登録日付	本体内のデータフォルダに登録した日付順に表示 ・microSDメモリカードからデータを移動／コピーした場合は、microSDメモリカードに登録した日付ではなく、本体内のデータフォルダに移動／コピーした日付でソートされます。 ・「登録日付」に設定すると、データの一覧には上から順番に日付の新しいデータが並びます。

■お知らせ

- 種類順に表示する場合は、次の順番で表示されます。
 (1)EZムービー／ムービー(S→M→L→QVGA→その他のムービー)　(2)フォト
 (3)ボイス(録音データを含む)　(4)着うたフル®　(5)ダウンロード未完了の着うたフル®
 (6)CD読み込みデータ　(7)LISMO Music Storeで購入した着うたフル®　(8)ビデオクリップ
 (9)LISMO Music Storeで購入したビデオクリップ　(10)ダウンロード未完了のビデオクリップ
 (11)プレイリスト　(12)メロディ(着Flash→着うた®→SMAFメロディ)
 (13)アニメ&メロディ　(14)グラフィック(PNG→BMP→GIF→JPEG→Flash®)

(15)アニメ　(16)カラオケ　(17)ケータイアレンジファイル
(18)クーポン情報　(19)クーポン内容
(20)フォトミキサー(テンプレート→フォトミキサー作品)　(21)メニュー用Flash®　(22)フレーム
(23)スタンプ　(24)辞書　(25)アドレス帳(vCardデータ)
(26)スケジュール／タスクリスト(vCalendarデータ)　(27)テキスト　(28)マルチパックデータ
(29)電子書籍データ　(30)デコレーショメールテンプレート　(31)不明なファイル

ファイル名検索

1 データ一覧画面(▶P.138)→[メニュー](サブメニュー)→[検索／ソート]→[ファイル名検索]→ファイル名を入力→[●]

全角22／半角45文字まで入力できます。
該当するデータが存在する場合は、件数が表示されます。

該当するデータが存在する場合

該当するデータの一覧画面が表示されます。
この画面では、「ソート」と「ファイル名検索」以外の操作を行うことができます。
[アプリ](終了)／[メモ/クリア]を押すと、検索を終了します。

■お知らせ

- microSDメモリカード内のデータは、検索の対象に含まれません。
- ファイル名の一部を入力することで、該当するファイル名のデータを検索できます。
- 拡張子(.jpgなど)も検索対象になります。

詳細情報

データのサイズや属性などを表示できます。

1 データ一覧画面(▶P.138)→[メニュー](サブメニュー)→[詳細情報]

■ データ詳細情報画面の内容

データによって表示される項目は異なります。

項目	説明
タイトル	データのタイトル
サイズとクラスタ	データのサイズとクラスタ(1クラスタは4,080byte)
保存サイズ	microSDメモリカード上での使用サイズ ※microSDメモリカード内のデータフォルダ／SDビデオフォルダでのみ表示
ファイル名	拡張子を含んだデータ名(「着うた保存」で保存したデータには、拡張子は表示されません。)
データ属性	「カラオケ」「アニメ」などといったデータの属性
部分変更	部分変更できる場合は「○」、できない場合は「×」
有効期限	有効期限が設定されている場合に表示
登録状況	他機能に登録した場合に表示(待受ショートカットへの登録は、登録状況として表示されません。データによっては登録していない場合「登録なし」、再生専用の場合「再生専用」と表示されます。また、空白で表示される場合もあります。)
著作権保護	著作権保護が設定されているデータは「あり」、ないデータは「なし」(着Flash／Flash®／メニュー用Flash®／クーポン情報／クーポン内容／デコレーションメールのテンプレート／BMP画像の場合、表示されません。)
メール添付:×	メール添付不可の場合に表示
シリアル転送:×	「データ転送モード(M582)」で転送できない場合に表示
赤外線送信:×	赤外線送信が不可の場合に表示
microSDへ保存:×	microSDメモリカードに保存できない場合に表示
データお預り:×	au My Pageへ保存できない場合に表示
保存日時	データフォルダまたはmicroSDメモリカードに保存した日時
(再生専用)	再生専用の場合に表示
販売元	販売元が設定されている場合に表示
権利者	権利者の名前が設定されている場合に表示
作成者	作成者の名前が設定されている場合に表示

項目	説明
権利情報	権利情報が含まれている場合に表示
作成元ID	作成したオーサリングツール番号が設定されている場合に表示
再生時間	再生可能時間
再生回数制限	再生回数制限が設定されている場合に表示
再生期限制限	再生期限制限が設定されている場合に表示
再生期間制限	再生期間制限が設定されている場合に表示
編集可否	ムービーのアフレコ、テロップ、GPS情報を編集／更新できる場合は「○」、できない場合は「×」
GPS情報	GPS情報が付加されている場合に表示。「あり」とGPS情報の確認レベル、測地系／表示（表示方法）／緯度／経度
画像品質	JPEG画像で画像品質情報がある場合に表示
画像サイズ	画像サイズと録画サイズ（ドット）（BMP画像の場合、表示されません。）
（フォトミキサー専用）	フォトミキサー専用の場合に表示
編集情報	編集可否、編集可能な画像数、編集可能なメッセージ数、編集後の最大サイズ、編集後のメール添付可否、編集後のシリアル転送可否
辞書名	辞書データに含まれる辞書名
収録語数	辞書データの収録語数
（メインメニュー専用）	メインメニュー専用の場合に表示
（フレーム専用）	フレーム専用の場合に表示
（スタンプ専用）	スタンプ専用の場合に表示
Suspend中ファイルサイズ	ダウンロード未完了の着うたフル®／ダウンロード未完了のビデオクリップの現状のデータサイズ
ダウンロード完了ファイルサイズ	ダウンロード未完了の着うたフル®／ダウンロード未完了のビデオクリップにおけるダウンロード完了時のデータサイズ
ファイル作成日時	録画開始日時を表示
録画時間	録画時間を表示

着うたフル®などの販売元／権利者／再生時間は「楽曲詳細表示」（▶P.150）で確認できます。

■お知らせ

- クラスタ／登録状況／編集可否／画像品質／画像サイズは、microSDメモリカード内のデータフォルダで、データ詳細情報画面を表示した場合、表示されません。
- au ICカードが挿入されていない場合やお客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、著作権保護が設定されたデータの詳細情報について表示内容が制限される場合があります。
- 「LISMO」フォルダのデータ（ダウンロード未完了の着うたフル®／ダウンロード未完了のビデオクリップ／プレイリストを除く）を選択した場合は、[m]（サブメニュー）→［情報］→［詳細情報］と操作してください。

フォルダ名編集

ユーザーフォルダ内のサブフォルダ名を編集できます。

1 **フォルダ一覧画面（▶P.138）→「ユーザーフォルダ」を選択→[●]（詳細）**

2 **サブフォルダを選択→[m]（サブメニュー）→［フォルダ名編集］→フォルダ名を入力→[●]**

フォルダ名は全角7／半角14文字まで入力できます。

■お知らせ

- 「全データ」のフォルダ名は変更できません。

フォルダ新規作成

1 **フォルダ一覧画面（▶P.138）→「ユーザーフォルダ」を選択→[●]（詳細）**

2 **[m]（サブメニュー）→［フォルダ新規作成］→フォルダ名を入力→[●]**

フォルダ名は全角7／半角14文字まで入力できます。

並び替え

「ユーザーフォルダ」内のサブフォルダは、自由に並べ替えることができます。

1 **フォルダ一覧画面（▶P.138）→「ユーザーフォルダ」を選択→[●]（詳細）**

2 [メニューキー](サブメニュー)→[並び替え]

「ユーザーフォルダ」内のサブフォルダの一覧が表示されます。

3 並べ替えるサブフォルダを選択→[●](選択)→移動先を選択→[●]

複数のサブフォルダを並べ替える場合は、操作3を繰り返します。

4 [メニューキー](確定)

■お知らせ

- 「全データ」フォルダは、並べ替えることができません。

フォルダ削除

1 フォルダ一覧画面(▶P.138)→[メニューキー](サブメニュー)→[フォルダ削除]

2

1件削除	選択中のフォルダ内のデータをすべて削除 サブフォルダの場合は、サブフォルダを削除 **[削除する]→ロックNo.を入力→[●]** ・「全データ」フォルダ／サブフォルダの「全データ」フォルダ／「ロックフォルダ」／「チャンネルボックス」は1件削除できません。
全件削除	データフォルダ内のすべてのデータを削除 データが保存されていないフォルダを非表示にし、すべてのサブフォルダを削除 **[削除する]→ロックNo.を入力→[●]** ・全件削除を実行しても、「チャンネルボックス」内のデータは削除されません。 ・「ユーザーフォルダ」「LISMO」「クーポンフォルダ」「フォトミキサー」フォルダ内のサブフォルダ、または「ムービーフォルダ」「フォトフォルダ」「ボイスフォルダ」内の日付サブフォルダを選択して全件削除を実行した場合は、フォルダ内のすべてのデータとサブフォルダ／日付サブフォルダが削除されます。 ・「全データ」フォルダ、「ユーザーフォルダ」「ロックフォルダ」は非表示になりません。

■お知らせ

- 削除したデータは、削除前の状態に戻すことができません。
- データを削除するまで時間がかかることがあります。
- microSDメモリカード内のデータフォルダのフォルダ一覧画面(▶P.163)のサブメニューで「フォルダ削除」を選択して「全件削除」を実行すると、microSDメモリカード内のデータフォルダのすべてのデータが削除されます。「デジカメフォルダ」「ユーザーフォルダ」内のすべてのサブフォルダは削除され、「デジカメフォルダ」「ユーザーフォルダ」以外のフォルダは非表示になります。
  ※「ユーザーフォルダ」「LISMO」「フォトミキサー」内のサブフォルダを選択した後、「フォルダ削除」を選択して「全件削除」を実行した場合は、「ユーザーフォルダ」「LISMO」「フォトミキサー」内のすべてのデータとサブフォルダが削除されます。
  ※microSDメモリカードの「SDビデオフォルダ」のフォルダ一覧画面で、「フォルダ削除」を選択して「全件削除」を実行した場合、「SDビデオフォルダ」内のすべてのデータとフォルダが削除されます。
- microSDメモリカード内の「ユーザーフォルダ」内のサブフォルダが全件削除されると、フォルダ一覧画面で「ユーザーフォルダ」を選択→[●](詳細)と操作した際、新たに空のサブフォルダ「フォルダ1～5」が作成されます。

オートプレイ

「フォトフォルダ」「グラフィック」「ムービーフォルダ」、microSDメモリカード内の「デジカメフォルダ」のサブフォルダでは、選択したフォルダ内のデータを連続で再生／表示することができます。

1 フォルダ一覧画面(▶P.138)→フォルダを選択→[メニューキー](サブメニュー)

2 [ピクチャオートプレイ]／[ムービーオートプレイ]

リピート設定／画像切替時間設定を設定する場合

3 [メニューキー]設定

4		
	リピート設定	オートプレイをリピートするかどうかを設定 [設定する]／[解除する]
	画像切替時間設定	ピクチャオートプレイの画像切替時間を設定 [はやい]／[普通]／[おそい] ・「はやい」は約3秒、「普通」は約6秒、「おそい」は約10秒で画像を切り替えます。

■お知らせ
- 「グラフィック」フォルダでオートプレイの対象となるデータは、静止画（JPEG／GIF／PNG／BMP）となります。

フォルダ使用状況

1 フォルダ一覧画面（▶P.138）→[📖]（サブメニュー）→[フォルダ使用状況]

■お知らせ
- データフォルダとEZアプリ（BREW®）で保存領域を共有しているため、データフォルダの保存可能容量は、EZアプリ（BREW®）の使用容量により減少します。
- データフォルダとEZアプリ（BREW®）の使用容量は小数点以下を切り捨てて表示しています。そのため1行目に表示された総使用容量と1KBの差が生じる場合があります。
- 表示されたパーセンテージは、最大保存容量に対するデータフォルダとEZアプリ（BREW®）の合計使用容量になります。
- フォルダ使用状況で表示されているデータフォルダの件数には、「ロックフォルダ」内のデータは含まれません。
- チャンネルボックスに登録されているEZチャンネルの番組件数や、EZニュースフラッシュの件数、「Eメールフォルダ」のEメール件数も表示されます。
- microSDメモリカードがセットされている場合は、[アプリ]（microSD）を押すとmicroSDメモリカード内の使用状況が表示されます。
▶P.163「microSD使用状況」

ファイル保存

プロフィール・アドレス帳・スケジュール・タスクリスト・簡単メモ帳・メモ帳の各機能から、それぞれのデータをデータフォルダに保存できます。

■お知らせ
- microSDメモリカードをセットしている場合のみ、保存先として「microSD」を選択できます。
- プロフィール／簡単メモ帳／メモ帳からファイル保存する場合は、1件保存のみとなります。
- 機能により、手順が異なる場合があります。

1 各機能のサブメニュー→[ファイル保存]

1件保存の場合

2 [1件保存]

3 [データフォルダ]／[microSD]

4 [保存する]

データに画像が登録されている場合、「保存する」の代わりに「画像を付加する」／「画像を付加しない」を選択します。

選択保存の場合

2 [選択保存]→[▲▼]／[✥]でデータを選択→[●]（選択）

選択方法については、「データの複数選択」（▶P.41）をご参照ください。
選択できるデータの件数は10件です。

3 [📖]（保存）

4 [データフォルダ]／[microSD]

5 [保存する]

データに画像が登録されている場合、「保存する」の代わりに「画像を付加する」／「画像を付加しない」を選択します。

■お知らせ

- プロフィール／アドレス帳／スケジュール／タスクリストの「画像」タブに登録されている画像に著作権保護が設定されている場合、画像／ムービーを含めたvCard／vCalendarデータの容量が500KBを超える場合、またはBMP画像の場合には、画像を付加して保存できません。
- **プロフィールをコピーして保存する場合**
  - ･プロフィールはvCardデータとしてコピーして保存されます。
  - ･プロフィールのファイル名は、名前の登録がある場合は「名前」、ない場合は「電話番号」となります。au ICカードが挿入されていない、またはお客様のau ICカード以外のカードが挿入されている際に、名前と電話番号2の登録がなくEメールアドレス2の登録がある場合は「Eメールアドレス2（"@"の左側の部分）」、Eメールアドレス2の登録がない場合は「アドレスカード」となります。
- **アドレス帳をコピーして保存する場合**
  - ･アドレス帳は、vCardデータとしてコピーして保存されます。
  - ･アドレス帳のファイル名は、名前の登録があるときは「名前」、名前がなく電話番号があるときは「電話番号」、どちらもなくEメールアドレスがあるときは「Eメールアドレス"(@"の左側の部分)」、いずれも存在しないときは「アドレスカード」となります。
- **スケジュールをコピーして保存する場合**
  - ･スケジュールは、vCalendar データとしてコピーして保存されます。
  - ･ファイル名は、「スケジュールの件名（全角18／半角36文字を超えた部分は切り捨て）＋開始日付の月日」となります。なお、件名が登録されていないときは、「スケジュール＋開始日付の月日」となります。
- **タスクリストをコピーして保存する場合**
  - ･タスクリストは、vCalendar データとしてコピーして保存されます。
  - ･ファイル名は、「タスクリストの内容（全角18／半角36文字を超えた部分は切り捨て）＋期限日付の月日」となります。なお、期限日付が登録されていないときは、「タスクリストの内容のみ」となります。
- アドレス帳／スケジュール／タスクリストは、本体内のデータフォルダ、またはmicroSDメモリカード内のデータフォルダの「PIM情報」フォルダにコピーして保存されます。
- **簡単メモ帳をコピーして保存する場合**
  - ･簡単メモ帳はテキスト（TXT）データとしてコピーして保存されます。
  - ･ファイル名は「簡単メモ帳」となります。
- **メモ帳をコピーして保存する場合**
  - ･メモ帳はテキスト（TXT）データとしてコピーして保存されます。
  - ･ファイル名は「メモ帳＋メモ帳No.」となります。
- 簡単メモ帳／メモ帳は、本体内のデータフォルダまたはmicroSDメモリカード内のデータフォルダの「テキスト」フォルダに保存されます。
- 保存する際にファイル名が同一になるデータがある場合、またはデータフォルダ内に同一のファイル名のデータが存在する場合は、保存するデータのファイル名の末尾に3桁の連番が付加されます。
  なお、文字数がいっぱいで付加できない場合は、末尾の3桁が連番に置き換えられます。

■ データの保存に失敗した場合は

データフォルダの空き容量が足りない場合は、次の操作で不要なデータを削除してください。

データフォルダ内のデータを削除する場合

①**［データフォルダ内削除］→フォルダ／サブフォルダを選択→●（詳細）**
　データフォルダ内のデータの一覧が表示されます。

②**削除するデータを選択→●（選択）**
　選択方法については、「データの複数選択」（▶P.41）をご参照ください。

③**（削除）→［削除する］**
　選択したデータをすべて削除します。

■お知らせ

- 「EZアプリ削除」を選択した場合は、EZアプリ（BREW®）を削除します。削除したいEZアプリ（BREW®）を選択してください。
- 「期限切れ削除」を選択した場合、再生回数／再生期限／再生期間が過ぎたデータを一括して削除します。
- microSDメモリカードがセットされていると、「microSDへ移動」を選択することができます。「microSDへ移動／コピー」（▶P.152）を参照して、データを移動してください。

microSDメモリカード

W52Pでは、microSDメモリカードを利用できます。
microSDはSDアソシエーションの商標です。

市販品のmicroSDメモリカードをW52P本体にセットすることにより、W52Pのデータフォルダのデータ／Eメール／Cメールを保存できます。サイズの大きなフォトやムービーを直接保存することができます。またアドレス帳、カレンダー／スケジュール、タスクリスト、EZお気に入りリストの登録内容をmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

■お知らせ

- microSDメモリカードは、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息するなど、傷害の原因となる場合があります。
- W52Pには、microSDメモリカードおよび変換アダプタは同梱されていません。
  市販品のmicroSDメモリカードおよび変換アダプタをご購入いただき、ご利用ください。
- microSDメモリカードをご利用になる場合は、W52Pで初期化を行ってください。
  初期化する方法については、「microSDメモリカードの初期化」(▶P.162)をご参照ください。
- W52Pでダウンロードした着うた®、着うたフル®や、au Music PortでCDから読み込んだ楽曲データ、ビデオクリップ、LISMO Music Storeで購入した着うたフル®、LISMO Music Storeで購入したビデオクリップは、同じ電話番号であってもLISMO対応機種以外では使用できません。
- 著作権保護が設定されているデータを、microSDメモリカードに移動やコピーすることはできません。ただし、著作権保護機能対応のデータは移動できます。▶P.161「著作権保護機能対応データの暗号化について」
- au ICカードが挿入されていない場合やお客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、著作権保護機能対応データを、microSDメモリカードに移動することはできません。
- 辞書データ、BMP画像、ダウンロード未完了の着うたフル®、ダウンロード未完了のビデオクリップ、クーポン内容、不明なデータ、「Eメールフォルダ」内のデータは、microSDメモリカードに移動／コピーできません。
- 「チャンネルボックス」フォルダの番組データを移動する方法については、「■ 番組データの移動」(▶P.189)をご参照ください。なお、番組データはコピーすることはできません。
- Flash®、メニュー用Flash®、着Flash、ケータイアレンジ、デコレーションメールのテンプレートにはmicroSDメモリカードに移動できないデータもあります。またFlash®、メニュー用Flash®、着Flash、ケータイアレンジ、デコレーションメールのテンプレートをmicroSDメモリカードにコピーすることはできません。

取扱上のご注意

記憶内容保持のために

- 読み込み中、書き込み中、再生中、保存中またはmicroSDメモリカードとW52P本体とでデータを移動／コピーしているときに、microSDメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外したり、W52P本体や機器の電源を切ったりしないでください。W52P本体やmicroSDメモリカードに記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- W52P本体にmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- microSDメモリカード挿入状態から無理に引き抜かないでください。故障・内部データ消失の原因となります。

故障や破損の防止のために

- W52P本体のmicroSDメモリカードスロットを爪ではじいたり、顔のほうに向けて、取り付け／取り外ししないでください。取り外すときなど強く押し込むと、勢いよく飛び出す事がありますのでご注意ください。
  microSDメモリカードによっては、ロックが出来ず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出し、取り出してください。
- 正しい取り付けかた、取り外しかたをご確認のうえ、ご使用ください。手や指を傷付けたり、目に当たるなどのけがをする可能性があります。
- 取り付け／取り外し時には、必要以上の力をかけないようにしてください。
- W52P本体のmicroSDメモリカードスロットには、液体・金属体・燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。microSDメモリカードを使用しないときは、キャップをはめてください。
- microSDメモリカードは指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品についてはauショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

- 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次の通りになります。その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

メーカー名	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
Panasonic	○	○	○	○	○	－
SanDisk	○	○	○	○	○	○
アドテック	○	○	○	○	○	－
東芝	－	－	○	○	○	－
バッファロー	－	○	○	○	○	○

※「○」：動作確認済み　「－」：未確認もしくは未発売　2007年5月現在
なお、動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご覧いただくか、auお客様センターまでお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。
※W52Pでは、2007年5月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

著作権保護機能対応データの暗号化について

W52Pには、著作権保護が設定されたデータを暗号化できる機能が備わっています。暗号化の対象となるのは、EZwebまたはau Music Portから取得、あるいはLISMO Music Storeから購入した著作権保護が設定されているデータです。著作権保護が設定されたデータを外部に持ち出すことはできませんが、暗号化することでmicroSDメモリカードに移動することができます。ただし、データの提供者が許可していない場合など、データによっては移動できないこともあります。
暗号化方式の対象データは、次の通りです。再生回数制限／再生期限制限／再生期間制限のあるデータも含まれます。有効期限が設定されたケータイアレンジファイルは対象外となります。
.amc .3g2 .3gp .kmf .swf .mmf .qcp .hvs .jpg .png .gif .mqf .m3f .tar .kpl .khm .kar

- microSDメモリカードのご利用開始時には、W52Pで初期化を行ってください。
▶P.162「microSDメモリカードの初期化」
- データの移動は、microSDメモリカードをW52Pに正しく取り付けてから行ってください。また、データの移動中に、microSDメモリカードを本体から抜かないでください。
- au ICカードを挿入していない場合やお客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、著作権保護が設定されたデータを暗号化することはできません。
- microSDメモリカードに暗号化して保存された著作権保護が設定されているデータは、同じ電話番号のau電話以外では再生、本体への移動はできません。
- 機種変更などにより別のau電話でお使いになっていたmicroSDメモリカードのデータの場合、暗号化方式の更新が必要な場合があります。暗号化方式の更新については、「ファイル変換」(▶P.163)をご参照ください。
- 著作権保護機能対応データは、データの種類に応じたmicroSDメモリカード内の対応フォルダにのみ移動できます。microSDメモリカード内の「デジカメフォルダ」「ユーザーフォルダ」「PCフォルダ」には移動できません。
- 暗号化されたデータの場合、メール添付、シリアル転送、赤外線送信を行うことはできません。
- microSDメモリカード内のデータ一覧画面では、著作権保護が設定されているデータに が表示されます。

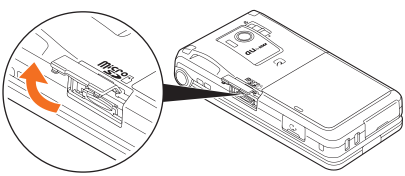
microSDメモリカードのセットのしかた

■お知らせ

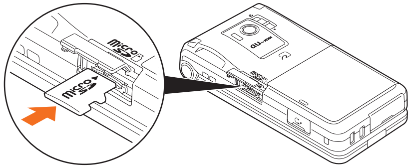
- microSDメモリカードの取り付け／取り外しは、本体の電源を切り、共通ACアダプタ01（別売）を外した状態で行ってください。
- microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り出せなくなったり、破損するおそれがあります。
- microSDメモリカードを取り付け／取り外しする際には、microSDメモリカードの端子面に触れたり、microSDメモリカードを傷付けたりしないようにご注意ください。故障やデータ消失の原因となります。

1 microSDメモリカードスロットのキャップを回転させるように※開ける

※無理に水平方向に開けようとすると破損する可能性があります。



2 microSDメモリカードをカチッと音がするまで差し込む





microSDメモリカードによっては挿入時にロックしにくいものがあります。挿入時はカチッと音がしていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。
ご注意ください。

3 microSDメモリカードスロットのキャップを、上から回転させるように※押し込んで閉じる

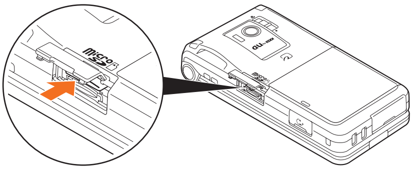
microSDメモリカードを本体にセットし、電源を入れると、待受画面に[SD](microSDメモリカードアイコン)が表示されます。
※無理に水平方向に閉じようとすると破損する可能性があります。

microSDメモリカードの取り外しかた

1 microSDメモリカードスロットのキャップを回転させるように※開ける

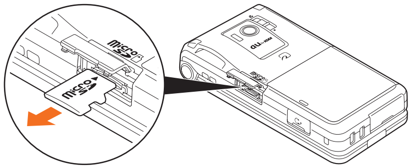
※無理に水平方向に開けようとすると破損する可能性があります。

2 microSDメモリカードを軽く押し込む



軽く押し込むと、microSDメモリカードが少し飛び出てきますので、指を添えておいてください。強く押し込み指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

3 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く



まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモリカードによっては取り外しにくいものがあります。取り外すときはカードの溝に爪をかけるなどして取り外してください。

4 microSDメモリカードスロットのキャップを、上から回転させるように※押し込んで閉じる

※無理に水平方向に閉じようとすると破損する可能性があります。

初期化／microSD使用状況／ファイル変換

microSDメモリカードの初期化

■お知らせ

- microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータはすべて削除されます。初期化の操作は、本当に初期化しても良いかをよく確認してから行ってください。
- microSDメモリカードの初期化は、W52PをACアダプタに接続するか、電池パックが十分充電された状態で行ってください。
- 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、W52Pでは正常に使用できない場合があります。W52Pで初期化を行ってください。

1 待受中に[●]→[microSD]

2 [📖](サブメニュー)→[初期化]→[初期化する]→ロックNo.を入力→[●]

microSD使用状況

1 待受中に[●]→[microSD]

2 [📖](サブメニュー)→[microSD使用状況]

■お知らせ

- メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなっています。
  「microSD使用状況」では、実際にご使用いただけるメモリ容量が表示されます。
- SDオーディオデータを削除しても、SDオーディオデータの管理情報がmicroSDメモリカード内に残ることがあります。そのため、削除後でも少量のメモリを使用している場合があります。
- [アプリ](本体)を押すと、本体内のデータフォルダのフォルダ使用状況が表示されます。
  ▶P.158「フォルダ使用状況」

ファイル変換

機種変更などで別のau電話でお使いになっていたmicroSDメモリカード内のデータフォルダからデータを選択して再生/表示する際に、ファイル変換を促すメッセージが表示される場合があります。ファイル変換を実行すると、暗号化方式を更新します。また、次の操作であらかじめファイル変換することもできます。

1 待受中に[●]→[microSD]

2 [📖](サブメニュー)→[ファイル変換]→[変換する]/[変換しない]

■お知らせ

- 電池残量が少ない場合には、ファイル変換を行うことができません。またファイル変換中に電池残量が足りなくなったときは、ファイル変換が中止されます。
- ファイル変換中に次の状態になった場合には、ファイル変換は中止され、中断するまでにファイル変換に成功した件数が表示されます。
  ・microSDメモリカードの空き容量が不足になった場合
  ・変換後の保存先フォルダ内の登録可能件数がいっぱいになった場合
- ファイル変換の対象データが多い場合には、変換に時間のかかることがあります。
- W52Pでファイル変換したデータは、別のau電話でお使いになれない場合があります。
- ファイル変換で「変換しない」を選択した場合でも、microSDメモリカード内のデータフォルダから本体内データフォルダにデータを移動し、もう一度microSDメモリカード内にデータを移動すると、別のau電話でデータを利用できないことがあります。
- ムービー/EZムービーの場合、チャプタ再生時にもファイル変換を促すメッセージが表示される場合があります。「変換しない」を選択した場合には、データを再生およびチャプタ再生することはできません。
- microSDメモリカード内のデータフォルダから本体内データフォルダにデータを1件移動する際にも、ファイル変換を促すメッセージが表示される場合があります。

microSDメモリカード内のデータフォルダ

フォルダ一覧画面とデータ一覧画面の表示

1 待受中に[●]→[microSD]→[データフォルダ]

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダ/サブフォルダを選択→[●](詳細)

データ一覧画面が表示されます。
データを選択して[●](再生/表示)を押すと、データを再生/表示できます。
再生/表示方法については、「データの再生/表示」(▶P.140)をご参照ください。

■お知らせ

- フォルダ一覧画面で[アプリ](本体)を押すと、本体内のデータフォルダを表示できます。
  [📖](サブメニュー)→[本体へ切替]と操作しても、本体内のデータフォルダを表示できます。
- microSDメモリカード内のデータフォルダには、「全データ」「クーポン内容」「チャンネルボックス」「辞書」「Eメールフォルダ」のフォルダはありません。

- 「ユーザーフォルダ」内に「ロックフォルダ」はありません。
- microSDメモリカード内のデータフォルダでは、データにGPS情報が付加されている場合でも、（GPS情報アイコン）は表示されません。
- microSDメモリカード内のデータフォルダでは、テキスト（TXT）を表示中に、本文に含まれる電話番号／Eメールアドレス／URLを選択して利用することはできません。
- 「ユーザーフォルダ」内には、あらかじめ「フォルダ1～5」のサブフォルダが用意されています。
- 「ユーザーフォルダ」には、最大100個のサブフォルダを作成できます。
- 「ユーザーフォルダ」内の各サブフォルダには、それぞれ最大1,000件のデータを保存できます。
- 「デジカメフォルダ」「ユーザーフォルダ」以外の各フォルダには、それぞれ最大1,000件のデータを保存できます。
  ※著作権保護機能対応データが保存されている対応フォルダについては、著作権保護機能対応データ用として、上記以外に最大2,000件保存できます。

■ フォルダ一覧画面で表示されるサブメニュー機能

フォルダの種類によって、サブメニューに表示される項目は異なります。

項目	参照先
フォルダ名編集	P.156
フォルダ新規作成	P.156
ムービーオートプレイ	P.157
ピクチャオートプレイ	P.157
画像表示設定	P.143
ムービー表示設定	P.143
情報表示	P.143
文字サイズ設定	P.143
フォルダ削除	P.157
プリント指定	P.166
本体へ切替	P.163

■ データ一覧画面で表示されるサブメニュー機能

データの種類によって、サブメニューに表示される項目は異なります。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">登録</td><td>データを本体内のデータフォルダに移動して登録
移動する：データを本体内のデータフォルダに移動して登録
以降の操作については、「登録」（▶P.144）をご参照ください。
移動しない：データを移動しない
・データは、本体内のデータフォルダの対応フォルダに移動されます。
・データ一覧画面や再生／表示中にアプリ（登録）を押しても、登録できます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">一括登録</td><td>アドレス帳（vCardデータ）／スケジュール・タスクリスト（vCalendarデータ）の内容をすべてアドレス帳、カレンダー／スケジュールまたはタスクリストに登録</td></tr>
<tr><td rowspan="4">移動／コピー</td><td>microSD内移動</td><td rowspan="2">microSDメモリカード内の「データフォルダ」の他フォルダ、PCフォルダへデータを移動／コピー
・移動／コピー方法については、「microSDへ移動／コピー」（▶P.152）をご参照ください。</td></tr>
<tr><td>microSD内コピー</td></tr>
<tr><td>本体へ移動</td><td rowspan="2">本体内のデータフォルダへデータを移動／コピー
・移動／コピーの方法については、「microSDへ移動／コピー」（▶P.152）をご参照ください。
・データを移動可能なフォルダについては、「■ データの移動／コピーが可能なフォルダ」（▶P.165）をご参照ください。
・移動／コピー先のフォルダ内に同一のファイル名がある場合には、移動／コピーするデータのファイル名の末尾に3桁の連番が付加されます。なお、文字数がいっぱいで付加できない場合は、末尾の3桁が連番に置き換えられます。</td></tr>
<tr><td>本体へコピー</td></tr>
<tr><td colspan="2">EZwebで接続</td><td>リンク情報が含まれている場合に「接続する」を選択してサイトを表示</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャプタ</td><td>ムービー、EZムービーのデータを最大9分割して表示し、選択した位置から再生
・選択したチャプタから後のチャプタは連続して再生されます。
・再生制限があるデータは、チャプタ再生できません。</td></tr>
</table>

項目	参照先
削除	P.40
Eメールへ添付	P.146
画像効果	P.133
画像変換	P.147
ムービー変換	P.149

項目	参照先
画像表示設定	P.143
ムービー表示設定	P.143
情報表示	P.143
文字サイズ設定	P.143
デコレーションメール作成	P.72

項目	参照先
タイトル編集	P.154
楽曲詳細表示	P.150
赤外線送信	P.154
詳細情報	P.155

■ 表示中／再生中／一時停止中／再生停止中にのみ表示されるサブメニュー機能

項目	説明
アドレス帳へ登録	内容表示中のアドレス帳（vCardデータ）の内容をアドレス帳に登録
カレンダーへ登録	内容表示中のスケジュール／タスクリスト（vCalendar データ）の内容をスケジュールまたはタスクリストに登録

項目	参照先
本文コピー	P.88
テキスト文字サイズ設定	P.143
静止画保存	P.141
全画面	P.141

項目	参照先
クオリティ設定	P.141
区間リピート	P.142
オールリピート	P.142

■ データの移動／コピーが可能なフォルダ

データの種類	移動／コピー先	移動／コピー可能なフォルダ
自作のVGA画像／SXGA画像／UXGA画像／ワイド画像	microSDメモリカード	「デジカメフォルダ」「ユーザーフォルダ」「PCフォルダ」、対応フォルダ（「フォトフォルダ」）
	本体内のデータフォルダ	「ユーザーフォルダ」、対応フォルダ（「フォトフォルダ」）
自作以外のVGA 画像／SXGA 画像／UXGA画像／ワイド画像	microSDメモリカード	「デジカメフォルダ」「ユーザーフォルダ」「PCフォルダ」、対応フォルダ（「グラフィック」フォルダ） ・「デジカメフォルダ」に移動／コピーできない画像もあります（Exifの管理情報が画像に含まれない場合など）。
	本体内のデータフォルダ	「ユーザーフォルダ」、対応フォルダ（「グラフィック」フォルダ）
上記以外のデータ	microSDメモリカード	「ユーザーフォルダ」、「PCフォルダ」、対応フォルダ ・データの種類と対応フォルダの関係については、「各フォルダに保存されるデータの種類とアイコン」（▶P.139）をご参照ください。
	本体内のデータフォルダ	「ユーザーフォルダ」、対応フォルダ ・microSDメモリカード内データフォルダの「不明なファイル」フォルダ内のデータは、本体内データフォルダに移動／コピーできません。

デジカメフォルダ

microSDメモリカードを本体にセットした状態で、フォトの撮影サイズを「VGA 640×480」「SXGA 1280×960」「UXGA 1600×1200」「ワイド 1600×960」に設定して撮影すると、撮影した画像は「デジカメフォルダ」のサブフォルダに保存されます。

■ DCF規格について

microSDメモリカードの「デジカメフォルダ」に保存されるデータは、DCF(Design rule for Camera File system)規格に準拠した方法で保存されます。

「デジカメフォルダ」には、フォトを保存する際、自動的に連番のフォルダが作成されます。フォルダは最大900個作成されます。フォルダ名は「100〜999までの3桁の連番＋KMA32」となります。

各フォルダには、最大9, 999番までのファイルが保存されます。保存されるフォトのファイル名は「MA32＋0001〜9999までの4桁の連番.jpg」となります。

DCF規格対応の機器（デジタルカメラやプリンターなど）の間で互換性があるため、「デジカメフォルダ」に保存されたデータをDCF規格対応のデジタルカメラで見たり、DCF規格対応のプリンターで印刷したりすることができます。

デジカメフォルダの表示

1 **待受中に[●]→[microSD]→[データフォルダ]**

2 **「デジカメフォルダ」を選択→[●](詳細)**

サブフォルダ一覧画面が表示されます。

3 **サブフォルダを選択→[●](詳細)**

データ一覧画面が表示されます。

[✥]で画像を選択して[●](表示)を押すと、画像を表示できます。



《サブフォルダー覧画面》



《データ一覧画面》

■**お知らせ**

- 「デジカメフォルダ」のデータ一覧画面は、常にサムネイル表示され、リスト表示にはできません。
- 「デジカメフォルダ」のサブフォルダ名は、変更できません。
- 「デジカメフォルダ」のデータ一覧画面では、選択した画像のタイトルではなく、撮影日時／画像サイズが表示されます。

プリント指定

デジカメフォルダ内の画像をDPOF対応のプリンターやDPOF対応のDPEショップで印刷するための設定(スタンダードプリント／インデックスプリント)を行います。

設定によりDPOF(Digital Print Order Format)に準拠してmicroSDメモリカードに保存されます。DPOF対応のプリンターやDPEショップでプリントできます。ただし、プリンターによっては対応していない機能もあります。

1 **データフォルダのフォルダー覧画面(▶P.163)で「デジカメフォルダ」を選択／デジカメフォルダのサブフォルダー覧画面(▶P.166)→[📖](サブメニュー)→[プリント指定]**

microSDメニューからも選択できます。



《プリント指定画面》

2

スタンダードプリント	▶P.166「■ スタンダードプリント」
インデックスプリント	▶P.167「■ インデックスプリント」
プリント指定削除	プリント指定がある場合に表示され、指定内容を削除
プリント部数確認	スタンダードプリント、インデックスプリントそれぞれの指定内容による印刷部数を表示

■ スタンダードプリント

印刷画像の選択(画像選択／全画像)の後、画像の印刷部数、日付印刷の有無を指定します。

1 **プリント指定画面(▶P.166)→[スタンダードプリント]**

印刷する画像を指定する場合

2 **[画像選択]→フォルダを選択→[●](詳細)→[✥]で画像を選択→[●](選択)**

最大100件まで選択できます。

3 **[📖](サブメニュー)→[設定]**

4

印刷部数	0～999で指定(初期値:1)
日付設定	設定する／設定しない(初期値:設定しない)

5 **[📖](確定)→[アプリ](完了)**

すべての画像を印刷する場合

2 **[全画像]→印刷部数と日付設定を設定→[📖](確定)**

■ インデックスプリント

データ一覧画面で印刷画像を選択、画像の印刷部数、日付印刷の有無を指定します。指定内容は選択した画像すべてに反映されます。

1 プリント指定画面(▶P.166)→[インデックスプリント]

2 フォルダを選択→●(詳細)→✥で画像を選択→●(選択)→(サブメニュー)→[設定]

3 印刷部数と日付設定を設定→(確定)→アプリ(完了)

「スタンダードプリント」(▶P.166)の操作4の選択項目をご参照ください。

PCフォルダ

「PCフォルダ」は、microSDメモリカードを利用してパソコンなどの外部機器とデータを交換するためのフォルダです。
外部機器に移動したいデータは、PCフォルダに移動した後、パソコンなど外部機器を操作して取り出してください。

1 待受中に●→[microSD]→[PCフォルダ]

データ一覧画面が表示されます。

2 (サブメニュー)

3

自動振分	▶P.167「自動振分」
削除	▶P.40「データの削除」
文字サイズ設定	データ一覧画面を表示する際の文字サイズを設定 **[大]／[中]** ・「データフォルダ文字(M336)」でも設定できます。



《データ一覧画面》

■お知らせ

- お買い上げ時や、microSDメモリカードを初期化した後で「PCフォルダ」を表示しようとすると、「PCフォルダ」を作成するかどうか確認するメッセージが表示されます。
  「作成する」を選択すると、「PCフォルダ」が作成されます。
- microSDメモリカードをパソコンなどの外部機器で参照した際、「PCフォルダ」に該当するフォルダは、PRIVATE¥AU_INOUTです。
- microSDメモリカード内のPRIVATE¥AU_INOUT以外のフォルダ／データをパソコンなどの外部機器で操作すると、W52PでのmicroSDメモリカードのご利用に不具合が生じる可能性があります。
- パソコンなどの外部機器を利用するとPRIVATE¥AU_INOUTフォルダには1,000件を超えるデータを保存できますが、W52Pで認識できるファイル数は最大1,000件です。

自動振分

選択したデータをmicroSDメモリカード内のデータフォルダのデータの種類に応じたフォルダ(対応フォルダ)に移動します。
データの種類と対応フォルダの関係については、「各フォルダに保存されるデータの種類とアイコン」(▶P.139)をご参照ください。

1 PCフォルダのデータ一覧画面(▶P.167)→(サブメニュー)→[自動振分]

2

1件振分	データ一覧画面で選択したデータを対応フォルダへ移動
選択振分	データを選択して対応フォルダへ移動
全件振分	PCフォルダ内の全データを対応フォルダへ移動

SDオーディオフォルダ

パソコンに保存した音楽データをSD-Audio規格に変換してmicroSDメモリカードへ保存したものを、W52Pで再生できます。
microSDメモリカードに書き込んだ曲の再生は、「SDオーディオフォルダ」または「SDオーディオプレイヤー」(▶P.290)で行います。
「SDオーディオフォルダ」に音楽データ(SD-Audio規格で保存されたAAC形式のデータ)を書き込むには、次の方法があります。

- microSDメモリカードをセットしたW52Pとパソコンを、USBケーブル(試供品)で接続して書き込む
- microSDメモリカードをセットした著作権保護機能に対応したカードリーダー(市販品)とパソコンを接続して書き込む

どちらの場合でもパソコン向けのソフトウェア(市販品)が必要となります。ソフトウェアの操作方法などは、ソフトウェア付属の取扱説明書をご覧ください。
推奨ソフトウェアは、松下製「SD-Jukebox」(市販品)です。詳しくは次のURLをご参照ください。
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/index.html



《データ一覧画面》

1 待受中に[●]→[microSD]→[SDオーディオフォルダ]

microSDメモリカードに登録されているSD-Audio規格のデータ一覧が表示されます。
データ一覧画面には、microSDメモリカードに書き込んだ日時、曲名、アーティスト名が表示されます。著作権保護が設定されているデータには[著作権アイコン]が表示されます。

2 データを選択→[●](再生)

[●]:一時停止/再生　[▲▼]:音量調節
[▶]:早送り　[◀]:巻戻し
[次の曲へキー]:次の曲へ　[前の曲へキー]:前の曲へ
[2]:「イヤホン効果(M2✱3)」の切り替え(「DBEX設定(M2✱1)」解除時)
[3]:「DBEX設定(M2✱1)」の切り替え
[7]:画面情報の表示/非表示
[ペアキー]:「スピーカー効果(M2✱2)」の切り替え(「DBEX設定(M2✱1)」解除時)
[メモ/クリア]:停止
[サブメニューキー](**サブメニュー**):削除(▶P.40)、詳細情報(曲名、アーティスト名、データサイズ、保存日時などを表示)

■お知らせ

- 再生できるデータの種類は、「AAC」のデータです。
- データに曲名やアーティスト名の情報が含まれていない場合、データ一覧画面でデータを選択すると、「曲名なし」「アーティスト名なし」と表示されます。また、曲名、アーティスト名は変更できません。
- データ一覧画面で[サブメニューキー](サブメニュー)を押すと、「削除」「詳細情報」「情報表示」を選択できます。「削除」は「1件削除」「選択削除」「全件削除」を選択できます。
  詳しい操作は「データの削除」(▶P.40)をご参照ください。
  「情報表示」(▶P.143)では、再生中に表示する情報(アイコン類、経過時間など)の表示/非表示を設定できます。

SDビデオフォルダ

SD-Video規格対応のAV機器(家庭用DVDレコーダーなど)で録画・録音して、microSDメモリカードに保存したASFデータを、W52Pで再生できます。
なお、録画モードによっては再生できない場合があります。

1 待受中に[●]→[microSD]→[SDビデオフォルダ]

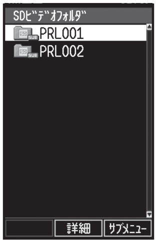
フォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選択→[●](詳細)

データ一覧画面が表示されます。
データ一覧画面でデータを選択して[●](再生)を押すと、データを再生できます。再生中の操作方法については「■ ムービー／EZムービーの再生」(▶P.141)をご参照ください。

■お知らせ

- 「SDビデオフォルダ」のフォルダ名／データのタイトルは、変更できません。



《フォルダ一覧画面》



《データ一覧画面》

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー機能

項目	参照先
情報表示	P.143
ムービー表示設定	P.143
文字サイズ設定	P.143
フォルダ削除	P.157

■ データ一覧画面のサブメニュー機能

項目	参照先
チャプタ	P.141
削除	P.40
情報表示	P.143
ムービー表示設定	P.143
詳細情報	P.155

バックアップ

アドレス帳、スケジュール、タスクリスト、EZお気に入りリストの登録内容をmicroSDメモリカードにバックアップして、控えを作成できます。

保存

1 待受中に[●]→[microSD]→[バックアップ]→[保存]

2

項目	内容
アドレス帳	アドレス帳のすべての内容をバックアップ保存 アドレス帳に登録されている画像について「付加する」／「付加しない」を選択 ・「付加する」を選択した場合、保存できない画像は外して保存する旨のメッセージが表示されます。「継続する」を選択します。 ・著作権保護が設定されている画像の場合、画像を外して保存されます。
スケジュール／タスクリスト／EZお気に入りリスト	選択した項目をすべてバックアップ保存 ・スケジュール／タスクリストを選択すると、画像は保存されない旨のメッセージが表示されます。

3 ロックNo.を入力→[●]

■お知らせ

- アドレス帳に登録されているBMP画像、著作権保護が設定された画像およびムービーは、バックアップできません。
- スケジュール、タスクリストに登録されている画像やムービーは、バックアップできません。

読み込み

バックアップしたデータをアドレス帳、スケジュール、タスクリスト、EZお気に入りリストに上書登録します。

■お知らせ

- バックアップデータは、上書登録されます。そのため読み込み操作を行う項目にあらかじめ登録されていた内容は、すべて削除されます。
バックアップデータを読み込む操作は、本当に必要な場合のみ行ってください。

1 待受中に[●]→[microSD]→[バックアップ]→[読み込み]

2 アドレス帳／スケジュール／タスクリスト／EZお気に入りリストを選択→[●](詳細)

3 データを選択→[●](読込)

- 操作2で「アドレス帳」を選択した場合のみ、データを選んで読み込むと、データに含まれる画像を「読み込む」／「読み込まない」の選択画面が表示されます。

4 [継続する]→ロックNo.を入力→[●]

削除

1 待受中に[●]→[microSD]→[バックアップ]→[削除]

2 削除する項目を選択→[●](詳細)→[📖](サブメニュー)→[1件削除]／[選択削除]／[全件削除]

- 削除方法については、「データの削除」(▶P.40)をご参照ください。

3 ロックNo.を入力→[●]

microSDメモリカードの内容をパソコンで表示

microSDメモリカードの内容をパソコンで確認する方法は2つあります。
microSDメモリカードをW52Pから外して、変換アダプタにセットしてパソコンのSDメモリカードリーダーで見る方法と、W52PにmicroSDメモリカードを装着したまま付属のUSBケーブル(試供品)や、USBケーブルWIN(別売)でパソコンにつないで外部ディスクとして使う方法(マスストレージ)です。
パソコンでmicroSDメモリカードを選択すると、次のように表示されます。

- リムーバブルディスク(E)
  - DCIM ―― データフォルダの「デジカメフォルダ」内のデータを保存
  - MISC ―― データフォルダの「デジカメフォルダ」のプリント指定を保存
  - PRIVATE
    - AU
      - BU ―― バックアップデータを保存
        アドレス帳／スケジュール／タスクリスト／EZお気に入りリストのバックアップデータを保存します。
      - DF ―― データフォルダのデータを保存
      - EF ―― 著作権保護データを保存
      - ML ―― Eメール／Cメールを保存
    - AU-INOUT ―― 「PCフォルダ」内のデータを保存
  - SD-AUDIO ―― 「SDオーディオフォルダ」内のデータを保存
  - SD-VIDEO ―― 「SDビデオフォルダ」内のデータを保存
  - SD-BIND ―― 著作権保護データを保存

■お知らせ

- **DCIM／MISC／BU／DF／MLフォルダについて**
  DCIM／MISC／BU／DF／MLフォルダは、W52Pから操作するためのフォルダです。
  これらのフォルダおよび保存されているデータをパソコンなどの外部機器で操作すると、W52Pでデータを正常に表示できなくなる可能性があります。
  これらのフォルダおよび保存されているデータは、パソコンなどで操作しないでください。
- **DCIMフォルダ(デジカメフォルダ)について**
  DCIMフォルダには、フォトを保存する際、自動的に連番のフォルダが作成されます。フォルダは最大900個作成されます。フォルダ名は「100～999までの3桁の連番+KMA32」となります。
  各フォルダには、最大9,999番までのファイルが保存されます。保存されるフォトのファイル名は「MA32+0001～9999までの4桁の連番.jpg」となります。
  ※W52Pで「デジカメフォルダ」を表示した場合、選択したフォトのファイル名ではなく、撮影日時／画像サイズが表示されます。

- AU_INOUTフォルダ(PCフォルダ)について
  AU_INOUTフォルダは、W52Pとパソコンなどの間で、データをやりとりするためのフォルダです。
  AU_INOUT フォルダに保存されたデータは、W52Pの「PCフォルダ」に表示されます。
  ※W52Pで認識できる「PCフォルダ」内のファイル数は、最大1,000件です。
  ※AU_INOUTフォルダ内には、フォルダを作成しないでください。フォルダを作成しても、W52Pでは表示されません。
- SD_AUDIOフォルダについて
  SD_AUDIOフォルダには、SD-Audio規格に準拠してデータが保存されます。
  このフォルダ以下に保存されたファイルは、他のmicroSDメモリカードにコピーしても再生することはできません。
  フォルダには最大999番までのファイルが保存されます。保存されるデータのファイル名は「AOB+001〜999までの3桁の連番.sa1」となります。
  ※W52Pで「SDオーディオフォルダ」を表示した場合、選択したデータのファイル名ではなく、曲のタイトルおよびアーティスト名が表示されます。
- SD_VIDEOフォルダについて
  SD_VIDEOフォルダには、SD-Video規格対応のAV機器で録画した際に自動的に連番のフォルダが作成されます。
  フォルダは最大4,095個作成されます。フォルダ名は「PRL+001〜FFFまでの3桁の連番」となります。
  各フォルダには最大4,095番までのファイルが保存されます。保存されるデータのファイル名は「MOL+001〜FFFまでの3桁の連番.asf」となります。
  ※W52Pで「SDビデオフォルダ」を表示した場合、選択したデータのファイル名ではなく、データに設定されているタイトルが表示されます。
- EF/SD_BINDフォルダについて
  microSDメモリカードに保存された著作権保護が設定されたデータは、パソコンで見た場合、EFまたはSD_BINDフォルダ以下に保存されています。
  EF/SD_BINDフォルダ以下に保存されたファイルをパソコンで編集、操作した場合、データが消去される、または利用できなくなるおそれがありますのでご注意ください。また、パソコンでの操作に限らず著作権保護データを保存できなくなった場合は、W52PでmicroSDメモリカードの初期化を行うことにより、著作権保護データを保存できるようになる可能性があります。ただし、初期化を行うとmicroSDメモリカードに保存されているデータがすべて削除されますのでご注意ください。

マスストレージモード(M583)

パソコンとW52Pを付属のUSBケーブル(試供品)で接続して、ハードディスクと同じように、W52PのmicroSDメモリカード内のデータを読み書きできます。

■お知らせ

- あらかじめ「USB接続設定(M584)」を「マスストレージ」または「接続時確認」に設定してください。「USB接続設定(M584)」を「マスストレージ」に設定した場合、操作3のUSB選択モード画面は表示されません。

1 USBケーブル(試供品)をパソコンのUSBポートに接続

パソコンが完全に起動している状態で、USBケーブル(試供品)を接続してください。

2 待受中のW52PにUSBケーブル(試供品)を接続

「USB接続設定(M584)」を「接続時確認」に設定していた場合

3 USB選択モード画面で[マスストレージモード]

パソコン側で自動的に標準ドライバがインストールされ、W52PのmicroSDメモリカードが「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識されます。
マスストレージが確立している間、W52Pは電波OFFモードとなります。

4 パソコンとの通信を終了

5 パソコンのタスクバー上にあるハードウェアの取り外しアイコンを選択→「USB大容量記憶装置デバイス」を選択

通信が切断された旨のメッセージが、W52Pに表示されます。

6 W52PからUSBケーブル(試供品)を取り外す

■お知らせ

- Windows® XP/2000以外のOSでの動作は、保証していません。
- パソコンとの通信が確立するまでに、時間がかかることがあります。
- パソコンとデータの読み書きをしている間に、USBケーブル(試供品)やmicroSDメモリカードを取り外すと、データを破損するおそれがあります。通信中には取り外さないでください。
- 通信中に電池パックを取り外さないでください。

- 電池残量には十分ご注意ください。電池残量が少なくなったときは、電池が切れる前に充電するか、通信を終了させてください。パソコンのエラーやデータの破損などの原因となります。
- 接続するときは卓上ホルダに載せて充電した状態で行うことをお勧めします。接続しながら充電する方法については「■ マスストレージ接続／データ通信しながら充電する」(▶P.28)をご参照ください。
- W52Pが次の場合にUSBケーブル（試供品）を接続すると、通信モード選択画面は表示されず、通常のデータ通信／転送モードになります。
  ・待受画面以外で接続した場合　　・「USB接続設定(M584)」が「データ転送」に設定されている場合
  ・電源を入れたときにUSBケーブル（試供品）が接続されていた場合　　・Eメールのバックグラウンド受信中
- マスストレージモード中は、W52Pでキー操作を行うことはできません。
- [●][5][8][3]と操作してもマスストレージモードを開始することができます。その場合、USBケーブル（試供品）をW52Pに接続する前に待受画面で[●][5][8][3]を押してください。その後USBケーブル（試供品）の接続を促すメッセージが表示されますので、30秒以内にUSBケーブル（試供品）をW52Pに接続してください。
- マスストレージモード中にアラームの時刻になった場合は、マスストレージモードを継続します。USBケーブル（試供品）をW52Pから取り外してマスストレージモードを終了すると、アラームが鳴ります。